



平成31年 1月発行

がんばろう、周防大島!

柳居俊学活動レポート
大島大橋損傷事故特集号

柳居俊学事務所
〒742-2921 山口県大島郡周防大島町西方
TEL(0820)78-1235
FAX(0820)78-2118



周防大島応援キャンペーン (広島市・12月12日)

私も地元県議として、町・県・国の連携をよりしっかりとしたものにし、このピンチをチャンスにすべく全力で取組んでいます。

この難局に多くの皆様が、復興に立ち上がり、力を合わせています。

この「特集号」では、最前線で頑張っておられる皆様からお寄せいただきました熱い思いを掲載させていただきました。

新しい年を迎えました、この年を、力を合わせて周防大島復興の新しいスタートとしたいと存じます。

今年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

断水中も多くのご支援とご協力をいただきましたが、その後「がんばろう、周防大島」のかけ声とともに、復興支援の輪もさらに広がっています。

謹賀新年。春を告げるかのように、鉢の福寿草が小さな花を開きました。皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年十月二十二日の大型船舶の大島大橋衝突事故により、わが周防大島は、長期にわたる断水(四十日間)と大橋の通行規制(三十七日間)によって、過去に例を見ない甚大な被害、打撃を受けました。

すぐに、応急復旧工事に取りかかり、関係の皆様の懸命なご努力により、工事も順調に進み、断水も大橋の通行規制も解消されました。

さらに、周防大島の一日も早い復興に向け、山口県と周防大島町では、関係機関と連携して十二月十日から、「周防大島応援キャンペーン」を実施しています。



全国都道府県議会連合会会長
山口県議会議長

柳居俊学

新しい年、
新しいスタートに!



県知事と大橋損傷状況を確認



石井国土交通大臣に支援を要望



県の説明会において、早期復旧を要望



阿達国土交通大臣政務官に要望

村岡県知事、柳居県議長、椎木町長一行は十一月二日、県選出国會議員や国の関係省庁を訪ね、大橋・水道の早期復旧や支援について緊急要望を行いました。また十一月四日柳居議長は県知事とともに、大橋の損傷・給水状況の現場視察や協議を行いました。

国に早期復旧と支援を要望

大島大橋貨物船衝突事故関連時系列

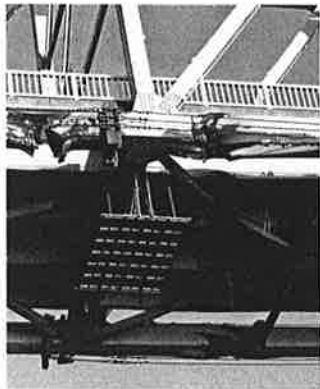
(時刻は24時間表示)

月日	概	要
10月22日	・0時半頃マルタ船籍の大型貨物船が大島大橋に衝突し、水道管や光ファイバー等を切断。大橋も大きな損傷を受ける ・1時55分水道企業団は周防大島町への送水を停止。 ・2時に町は水道事故対策本部を、4時30分に災害対策本部を設置 ・8時に町は配水を停止。9時頃から16カ所の臨時給水所を設置 ・県内の各市町が給水支援にかけつける ・22時県が安全点検のため大橋を全面通行止め	
23日	・安全点検のため大橋終日通行止め ・給水車をフェリーで運ぶため給水所を4~5カ所に縮小 ・棕野漁港~柳井港間に無料臨時連絡船を運航開始(4往復)	
24日	・7時から片側交互通行を始める(2t超は通行不可)。風速5m/秒を超える場合は通行止めとする ・柳井市、上関町で温浴施設を町民に無料開放開始 ・町外での臨時給水支援始まる	
25日	・県知事の要請を受け自衛隊が給水支援 ・10時15分から2時間強風で大橋通行止め(以後14日通行止め) ・臨時フェリーによるガソリン運搬開始	
26日	・町内温浴施設やホテル等の休館・休業が相次ぐ ・直径50ミリ消防用ホースで給水用に送水(28日に終了) ・大橋復旧工事準備のため23時から翌朝5時まで全面通行止め	
27日	・衝突した貨物船の所有会社幹部が県、町に謝罪	
29日	・歩道に直径75ミリの仮設管の設置工事開始 ・県が貨物船衝突で大橋16箇所に亀裂や変形があると発表 ・重量測定所で測定し8t以下の車両の23時から翌朝5時までの通行緩和	
11月1日	・給水車、通学バスなど大橋の規制を一部緩和。 ・呉市が給水船(50t)を派遣(8日も) ・竜崎温泉潮風の湯が町民に無料開放開始 ・町外の温浴施設の無料開放支援広がる	
2日	・県と町が家庭への送水を12月上旬との見通しを示す ・75ミリ仮設管の給水用送水を開始 ・町内9カ所に給水所を拡大 ・村岡知事、柳居議長、椎木町長等が大橋事故関連で国に緊急要望	
4日	・村岡知事・柳居議長が大橋や給水所等現地視察	
5日	・町社会福祉協議会が給水ボランティアの募集を開始	

7日	<ul style="list-style-type: none"> ・町内14カ所に給水所を拡大 ・一部給水所に大型タンクを設置し給水車で巡回補給を開始 ・町社協募集の給水ボランティアが活動を開始 ・大島商船が練習船(大島丸)のシャワー設備や学生寮トイレの開放開始 ・300ミリ仮設水道管の歩道設置工事開始 ・大橋が強風で4時から22時過ぎまで長時間通行止め
8日	<ul style="list-style-type: none"> ・県が大橋の修復が終わる平成31年4月と同時に水道管を全面復旧すると発表 ・県が通行止めによる渋滞の運転手等のために仮設トイレを設置
9日	<ul style="list-style-type: none"> ・塩風呂保養館と片添ヶ浜温泉遊湯ランドが町民に無料開放開始
10日	<ul style="list-style-type: none"> ・衝突した貨物船の所有会社が給水船(200t)を久賀港に派遣開始
12日	<ul style="list-style-type: none"> ・広島、三原、呉、江田島の4市が給水車を順次派遣開始
13日	<ul style="list-style-type: none"> ・町が全59消防団に300ℓタンクや20ℓポリタンクを貸与。 ・広島大学が生物生産学部の練習船を久賀港に派遣開放 ・各給水所で巡回健康相談開始
15日	<ul style="list-style-type: none"> ・応急復旧工事(補強用の鋼材バイパスビームの取付)のため18日まで21時から翌朝5時まで全面通行止め ・町の事業者が島の特産品を集めた物販サイト「がんばろう!周防大島」を立ち上げ
16日	<ul style="list-style-type: none"> ・東瀬戸から大島駅まで9人乗り無料送迎車を運行開始(7往復)
18日	<ul style="list-style-type: none"> ・応急復旧工事が終了し通行規制風速5m/秒から10m/秒に緩和 ・2~8t車は21時から翌朝6時までの通行に緩和
19日	<ul style="list-style-type: none"> ・県と町が周防大島復興支援パッケージの予算に1億5200万円
27日	<ul style="list-style-type: none"> ・大橋の応急復旧工事の安全が確認され15時より通行規制解除(但し20トン以上の特殊車両は21時より翌朝6時までの通行規制) ・300ミリ仮設管により送水管の水の入替えや配水池清掃作業開始 ・無料送迎車の運行を終了
28日	<ul style="list-style-type: none"> ・定期バスが通常通りの運行を開始 ・無料臨時連絡船の運航を終了 ・町西部の約2400世帯の水道が復旧
29日	<ul style="list-style-type: none"> ・久賀など約1500世帯の水道が新たに復旧
30日	<ul style="list-style-type: none"> ・80%余りの約7900世帯の水道が復旧し、給水所を徐々に縮小 ・町外の3温浴施設の町民無料サービスが終了 ・町内3温浴施設が有利な期間限定回数券の販売開始
12月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・町の全域で水道が復旧
2日	<ul style="list-style-type: none"> ・町内温浴施設などが町民無料サービスを終了
3日	<ul style="list-style-type: none"> ・県が周防大島復興支援パッケージ事前説明会を開催

大橋水道復旧に全力

まず75ミリ仮設管により給水所用の送水を開始。その後各配水地に送水する300ミリ仮設管設置により、12月1日全町で給水が再開されました。また大橋は補強用鋼材の取付けにより、11月27日に片側交互通行解除となりました。

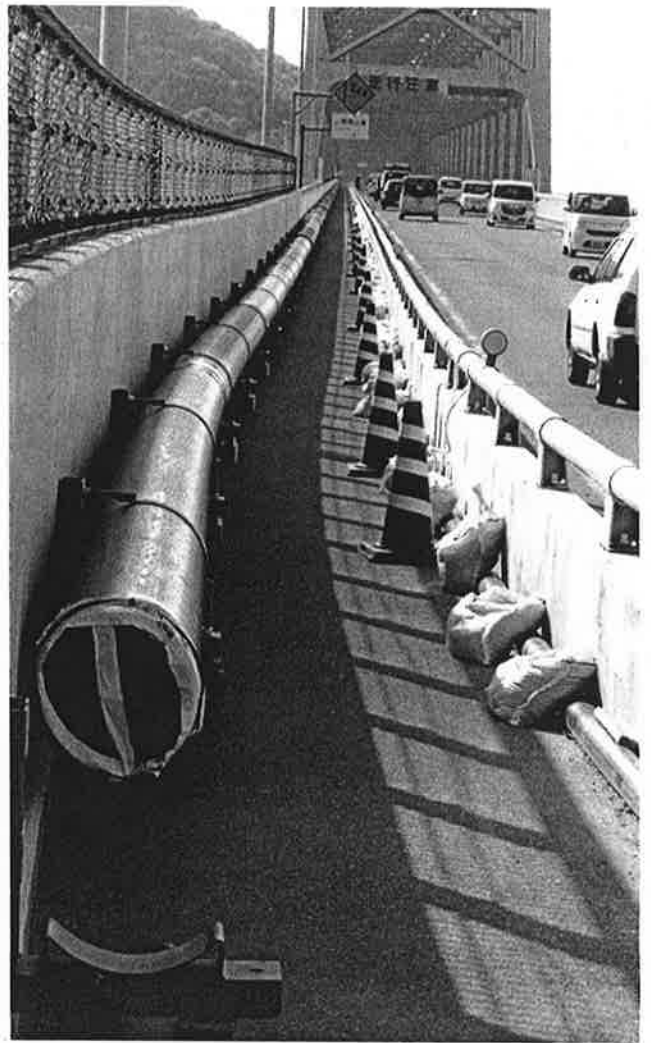


衝突により16カ所の亀裂と変形

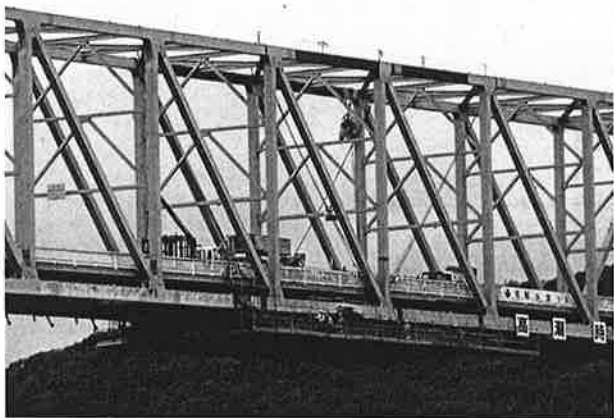
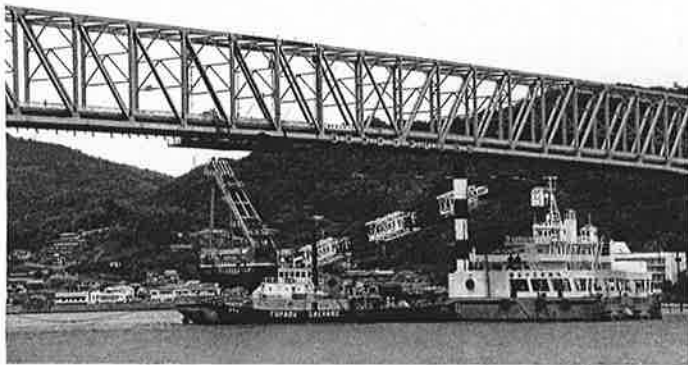


仮設管と既設管との接続

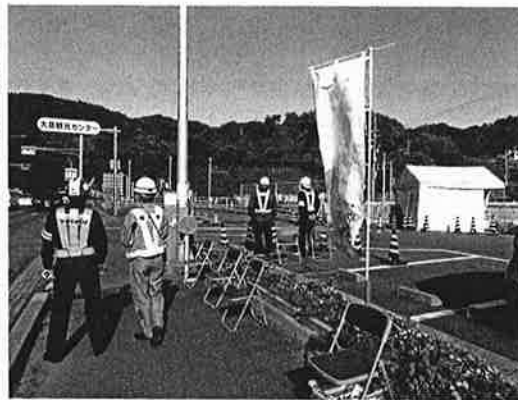
歩道に設置中の300ミリ仮設水道管
設置完了の75ミリ管 (右側) ▼



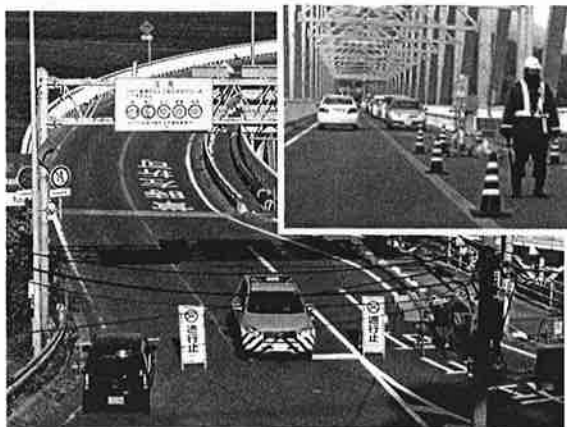
大橋復旧工事を行うクレーン船



橋桁の補強工事 ▲



重量測定や監視を行う大橋入口 (大島側) ▲



強風のため通行止め (大島側) ▲

長期間続いた片側交互通行



大橋通行止めによる渋滞 (東瀬戸付近) ▲

事故直後から、大橋の片側交互通行や重量規制が続き、秒速五桁以上の強風で大橋は十四回通行止めとなりました。十一月十八日からは秒速一〇桁に緩和され、安全確認後通行規制解除となりました。

大橋の通行規制続く

広がる支援の輪

各市町・自衛隊・ボランティアの給水支援や温浴施設の無料開放など

山口県や広島県の各市町、自衛隊、ボランティアなどの支援による給水所開設で町民は水の確保ができました。また町外の温浴施設も早くから無料開放され、町内でも順次温浴施設の無料開放がなされました。

東和総合センターの給水所（平野）▼



しまとびあスカイセンターの給水所（小松）▲



県防災センターの給水所（久賀）▲



大型タンクの給水所 ▲
（久賀弁天埠頭）



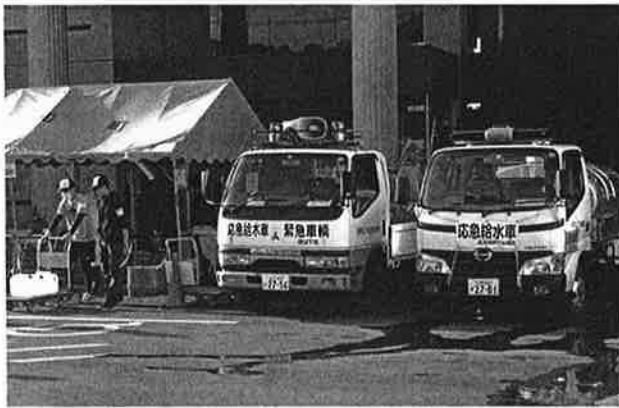
大型タンクの給水所 ▲
（オレンジロード入口）



橘総合センターの給水所（安下庄）▲



自治会・消防団・福祉会の給水活動（和田）▲



各所で行なわれた巡回健康相談 ▼

各市町の多くの給水車が島に入って給水支援 ▲



大島商船の練習船「大島丸」がシャワー室を開放 ▲

国への緊急要望概要 (11月2日)

1. 大島大橋の復旧対策について

島民生活は危機的な状況であり、一刻も早い全面復旧が喫緊の課題である。復旧に国の高度な知見が不可欠であり技術的な支援をお願いする。橋の経過年数を考慮すると抜本的な補強対策等の検討が必要で、国からの財政的・技術的な支援を要請する。

2. 災害や事故に備えた対応について

①既設送水管を代替する給水設備等の確保

第二の送水管の開設や、町内での非常用の第二水源の確保についての検討をすることとしており、それらの整備に関する補助制度創設など、財政的措置を含めた支援を要請する。

②伊保田港の拡充

災害時の物流体制を確保するため、大型フェリーの着岸が可能となる港湾施設等の整備について財政的支援を要請する。

③緊急時におけるフェリー等の機動的な活用

国において緊急時のフェリー等の情報の収集と自治体への迅速な情報提供及び緊急時の定期運航フェリー等の機動的な活用のための海上輸送法の弾力的運用を要請する。

3. 損害賠償請求等に関する支援について

損害賠償請求手続きを迅速かつ円滑に進める上で、国の関係機関による助言、情報提供等の支援を要請する。

4. 被害農家・漁家や中小企業への支援措置について

農家や漁家の影響、観光農園の営業困難など、また観光施設・宿泊施設・商業施設等中小企業の経営の安定に支障が生じており、激甚災害等に準じた国の支援措置を要請する。



自衛隊による給水支援活動

中学生も給水ボランティアに参加



自衛隊による海水の真水化作業



臨時連絡船 (棕野漁港⇄柳井港)

無料の臨時連絡船や送迎車を運行

重量規制による定期バス不通のため、十月二十三日から無料の臨時連絡船の運航が開始されました。また風速規制が緩和されたのを機に無料の送迎車も運行されました。

無料送迎車 (東瀬戸⇄大島駅)



待機する臨時用の連絡船

貨物船所有会社が県・町に謝罪

10月27日、大橋に衝突した大型貨物船の所有会社幹部が県・町を訪れて謝罪しました。県・町とも前代未聞の事故だとし、誠意ある対応を強く求めました。

町に謝罪する所有会社の幹部



衝突した大型貨物船 (2万5千トン)



力を合わせて復興を!

JA山口大島農業協同組合長 木村 昭彦

大橋の貨物船衝突事故による通行規制により、早生みかんは事故の二日後からフェリーの臨時便で数量制限があるも出荷できるようになりました。給油所では数日後からフェリーで入荷するも必要数量には程遠く、やむなく制限給油して何とか供給継続できました。Aコープ店では既に発注の食料品等が本土側に到着済で、急きよ神代港から漁船で久賀まで輸送し各店に配送、その後は軽トラ等で分けて輸送し、何とか食料品も大きな混乱なく販売できました。

大橋が通行できない場合に備えて、伊保田港に大型フェリーが着岸できるように代替手段として必要と思います。また是非とも別の送水管を確保していただきたいと思えます。

山口県漁協東和町支店運営委員長 小田 貞利

十月二十二日未明に起きた大橋貨物船衝突事故は、橋に大きなダメージを与え送水管などを切断する甚大な被害をもたらした。島民がいかに橋に依存していたかを再確認させられると共に、私たち漁業者は一夜で市場への道を失ってしまった。残された海路便も船は小さく乗れるトラックの台数も少ないため水・燃料の輸送が優先され、活魚での出荷は限られ出荷調整、休漁を余儀なくされた。

災害に備え最低限の島内での電力・水の確保が必要であると共に、十三便あるフェリー全便が寄港可能となる伊保田港の整備は不可欠であり、島民にとって大きな命綱になる。県には是非港の整備を最優先に取り組んでいただきたい。

周防大島町商工会長 川本 隆夫

大島大橋に外国船籍貨物船が衝突し、橋梁の損傷に加え送水管も切断されたため、大島大橋

の通行規制と町内全域にわたる断水が一月以上続きました。

さらに大島大橋の損傷により、大多数の事業者において事業活動の制限を余儀なくされ、経営の安定に支障をきたしております。町内の商業者の皆様には、事業活動の復活や発展を支援していくために、商工会役員一丸となって取り組む所存でございますので、ご協力とご支援のほどよろしくお願いいたします。

最後に、柳居俊学先生におかれましては、事故発生直後から早急な対応及び対策についてご尽力とご指導を賜り、誠にありがとうございます。

山口県建設業協会大島支部副支部長 迫田 一弥

橋の通行規制による安全確保のため、県土木から協会に大島側の誘導員の配置の要請があり、緊急集会を開き毎日三社各一名出すことになった。大島側は柳井支部が担当した。

規制により重量物が運搬できなくなり二次製品、セメント、アスファルト等が搬入できなくなった。コンクリート工事はセメント車をチャーター船で運び生コン出荷を可能にしたが、舗装工事はすべて中止となった。また現場では台車・トレーラーが橋の交通規制を受け、リース機械等の移動(返却・借入)もできなくなった。また昔と違い重機・車両・作業員の減少により、現場は外注(下請)、リースにも頼らざる終えない状況で、橋の通行規制は工事の中断を余儀なくされた。

業者は災害協定を県・町と結んではいないが、万が一災害が起きても現状では緊急の対応ができるかが心配だ。一船舶による事故であり県・町も被害者ではあるが、雇用の場を受け持つ建設業・商業・農業・漁業の支援対策を期待します。

周防大島観光協会事務局長 江良 正和

ドイツの海運会社が所有するエルナ・オルデンドルフの大橋衝突事故の影響により周防大島町全域が断水、大橋は二下以上の車両通行規制、風速五级以上時には通行止めという事態となりました。

みかんシーズン最盛期の十一月に観光バスが全面ストップとなり、観光農園やホテルは営業が成り立たず、飲食店や物産店も平時と比べ来訪客数が八割減という、島内の観光産業は危機的状況となりました。この状況を打開するため、観光協会では早急に飲食店と物産店でキャラバン隊を結成、週末ごとに近隣市町のショッピングモールで周防大島フェアを開催することで、収益確保と情報発信・情報収集に努めました。

ホテル大観荘代表取締役社長 新山 統一郎

断水・大島大橋(風速規制)の通行止めに伴い、十月二十三日から十一月末までの宿泊予定・昼夜の宴会の全てがキャンセルになりました。十二月上旬や年末年始も、橋の通行・送水が予定で確定ではなかったために、キャンセルが多くなりました。

当初は十二月上旬に送水、大橋全面開通の予定だったため、その時期までのネットの予約サイト・旅行会社からの予約は全面ストップの状況でした。また日帰り入浴に関しては、大型車の規制等での燃料不足や水不足によりお休みとしていました。

通行止めにより従業員の通勤ができないため、旅館を余儀なくされました。パートの方で長期休業のため生活が苦しいということで、退職された方もいました。今後の復興支援を大いに期待します。

サンシャインサザンセット総支配人 橋本 英一

この度の外国貨物船衝突事故により、完全旅館を余儀なくされ早一ヶ月が過ぎました。夏季の繁忙期の次に沢山のお客様にお越しいただく予定でしたが、全てのお客様にご旅行の日時変

更をお願いしました。また一生に一度の大切な日の日取り変更を頂きました新郎新婦、ご両家ご親族、ご列席者様にはお詫びと感謝の気持ちでいっぱいです。

従業員には慣れない業務(ホテル全館の美装家具の修理、県内観光施設への出向・研修)等大変な苦勞をかけたが、何とか水の準備も整い、ようやく十二月一日に結婚式をすることが叶い、翌二日より営業再スタートにこぎつきました。

苦い経験を経験しましたがピンチをチャンスに変えて、新しいサンシャインサザンセットを、今までより良くなったと皆様に褒めて頂けるよう、鋭意努力致しておりますのでご期待下さいませ。

瀬戸内ジャムスカーテン代表取締役 松嶋 匡史

この度の断水及び大島大橋の復旧・支援プロジェクトに関わられた皆様方、そして島へ熱いエールをいただいた皆様方に心から深く深く感謝申し上げます。一方で、断水と橋の交通規制により「生産できない」「来客なく売れない」「従業員も出勤できない」の三重苦に見舞われた島の事業者にとって、これは日常を取り戻した「ゴール」ではなく、痛手を負いつつやっとスタートラインに立てたという段階です。

ここからが私たち島の事業者の正念場。失った時間を取り戻し、笑って春を迎えられるよう、さらに島一丸となったの取り組みを加速させていきたいと考えます。今後ともどうか、島の事業者へのエールをいただけると幸いです。

周防大島町シニアクラブ連合会長 竹本三千之

今回の貨物船の大橋衝突事故は、島民の大多数の人達に影響がありました。私たちシニアクラブの人達も「風呂に入れない」「通行止めで病院に行けない時がある」「水がないので大島を離れ子供の近くの施設に入所する」などの問題に直面しました。

しかしながら県知事の入島以後急速に事態が好転し、現在では「断水」という悪夢のことからも解放され喜んでおります。またこの間、町

復興への応援メッセージ

山口県知事



明けましておめでとございます。周防大島町の皆様にとりまして、本年がより良い年となりますことを心から祈り申し上げます。

村岡 嗣政

安全保障委員長
衆議院議員



昨年の大島大橋損傷事故に際しましては、周防大島町民の皆様には計り知れない受難の生活を強いられ、多大なご苦労に耐え忍ばれましたこと、

岸 信夫

さて、昨年十月に発生した外国船籍貨物船による大島大橋損傷事故では、住民の皆様のご生活に多大な支障をきたしました。

柳居議長におかれましては、事故発生翌日には関係の国会議員や省庁を訪問され、被害状況の説明や支援要請を行われるなど、いち早く対応していただきました。

また県に対しては発生当初から、住民の皆様並びに町が御苦労されている状況や地元への御要望などをお伝えいたしたくとも、御一緒に国に対する緊急要請を行っていただくなど、大変なお力添えを賜っています。

さらに、大島大橋や水道管の復旧にあたり、地元や関係先の調整をはじめとする多大な御支援をいただき、その結果、当初予定より早く応急復旧を終了することができました。これまでの柳居議長の御尽力に対し、改めて深く感謝申し上げますとともに、敬意を表する次第です。

県では、住民の皆様が一日も早く元の生活を取り戻すことができますよう、柳居議長のお力添えをいただきながら、本年四月末までの大島大橋や水道管の本復旧に向け着実に取り組むとともに、町や関係機関等とも連携し、地域経済の回復等に向けた「周防大島復興支援パッケージ」に掲げた事業等に、全力を挙げて取り組んでいます。

私は、周防大島町の一日も早い復興に向け、引き続き、全力で支援してまいりますので、周防大島町の皆様、共に頑張りましょう。

謹んで敬服いたしますとともに衷心よりお見舞いを申し上げます。日常生活はもとより経済・物流を含む島に関連する全てにおいて、甚大な損害を受けたことは痛恨の極みでございます。

こうした中で柳居俊学先生におかれましては、事故直後から復旧へ向けて粉骨砕身で対処され、その豊富な見識を生かされ町・県と連携を図り敏速に国への緊急要望書提出等、様々な復興支援策も今日に至るまで講じられていらっしゃることに、改めて深く感謝する次第です。

今後において、町民の皆様が安心して暮らせる地域となるよう国土強靱化を推進し、防災・減災の取り組みにも尽力してまいります。結び、周防大島町の力強い復興とさらなる発展、並びに町民皆様のご健勝ご多幸を心よりご祈念申し上げます。

参議院議員

林 芳正



周防大島町の皆様、この度は予想もできない大変な被害にあわれましたことをお見舞い申し上げます。長期間の橋の通行制限と断水により、企業活動のみならず一般の家庭生活も大変な状況だと心配しております。

橋もほぼ通行制限が解かれ、水道も全島で利用できるように復旧しましたが、しかし大橋の歩道部分は未だに通行制限がかかっており、仮設ではなく本格的な送水管の敷設、さらに電気

ケーブル等の復旧工事はまだまだ続きます。今後あってはいけません。万が一に備えて、別の形で水の確保や大型フェリーの着岸など、自然災害にも備えた防災減災対策を計画することも必要と考えます。

今回の件、まずは加害者にしっかりと責任をとっていただき、二度とこのような事が起こらないようにしてはなりません。ご不便な生活が続きましたので、御身ご自愛下さいませよう祈念いたします。

参議院議員

江島 潔



西日本豪雨、大島大橋の船舶衝突事故災害により被災され、不自由な生活を余儀なくされた皆様に改めてお見舞いを申し上げます。また全力で救援活動、復旧活動にあられた皆様に感謝申し上げます。

さて本年七月、西日本豪雨により周防大島町は土砂崩れなどによる甚大な被害を受け、十月にはマルタ船籍の貨物船が大島大橋に衝突したことにより、大橋の水道管等が切断され町全域で断水が発生、応急復旧工事により十二月一日に全町への給水が再開されたところですが、私もこの自然災害と人為災害の現場を視察し、その傷跡を深く心に刻み込みました。

災害時にしっかりとライフラインが維持されるよう強靱なインフラを創り防災・減災、国土強靱化のための対策を国、県、町が一体となって進め、故郷の復興、復旧に全力で取り組んでまいります。

参議院議員

北村 経夫



大橋貨物船事故から一ヶ月以上が経過し、住民生活と直結する道路、水道のインフラの応急復旧は終了したところですが、現在も町の皆さまの

大島郡連合婦人会長

中元みどり

内外や県外から沢山のボランティアの支援をいただいたこと、中でも二年前に民泊に来た生徒さんから水を送ってもらったことに感涙です。

忘れもしない十月二十二日早朝から「大橋水道管破損のため断水になる」と防災無線があった。その後十時には完全に止まった。二十二日と二十三日は風呂に入れない。二十五日から山口で全国地域婦人会連絡協議会があるので、二十四日から一週間はかり宿を山口に予約した。ところが初日に湯あたりしたのか目まいがして一晩中苦しむ、三日目には早々に帰ってしまった。何といっても我が家は最高である。

多くの方が被害を受けられたのは間違いないが、「断水の島」に住んで本当に水を大事にすることを体験できた。関係者のお陰で予定より早く町内全域で元の生活に戻れた。

周防大島は住みやすさ日本一。大島を愛し人づくり地域づくり等々に、婦人会員一丸となつて取り組みたいと再認識した。

被害は甚大なものがあります。町の基幹産業である農林水産業・観光業、とりわけ観光農園や宿泊施設への打撃、また橋の通行規制による観光客の大幅な減少や物流の滞りは、島内の商工業に多大な影響を及ぼしています。

今後はこうした観光や経済面での落ち込みを一日でも早く回復させるための、早急な取り組みが重要であります。先般県知事が復興支援パッケージを公表しましたが、防災減災も含め地域住民の安心安全な生活を堅持するためにも、引き続きインフラの本格復旧に向けての支援、観光・地域経済の切れ目ない支援が不可欠であります。

今後は町と県そして国が力を結集し、復旧と復興に全力で邁進してまいります。

周防大島復興支援パッケージの概要

総事業費152百万円(県97百万円、町55百万円)

①周防大島応援キャンペーン(情報発信)

- 交流イベント開催支援
- 観・農・商連携プロモーション
農水産物・特産品の販売促進
プレミアム宿泊券等のPR
- 周防大島応援特別企画イベントの実施
- 周防大島復興支援パッケージのPR

②観光産業への支援

- (1)個人旅行客向けの需要喚起
 - プレミアム宿泊券の発行
割引率50% 発行枚数1万枚
 - プレミアムフェリー乗船券の発行
割引率50% 枚数車両750枚 人1500枚
 - 割引クーポン券の発行(店舗・観光施設等)
割引率20% 発行枚数20万枚

(2)団体旅行の需要喚起

- 旅行会社の企画商品への助成

③農林水産業への支援

(1)周防大島応援キャンペーン事業 ※再掲

(2)大島みかんの収穫・選別作業体制の確保に対する支援

- 選果円滑化支援
観光みかん園等での余剰みかんの正果出荷への選果費用補助
- 大島みかん収穫サポーターの確保支援
- 県職員の農家への援農ボランティア

(3)農林漁業者に対する金融支援

- 相談窓口の設置
- 日本政策金融公庫の農林漁業セーフティネット資金の「無利子化」

④商工業への支援

(1)周防大島応援キャンペーン事業 ※再掲

(2)店舗等への支援

- 割引クーポン券の発行 ※再掲

(3)商工業者に対する金融支援

- 相談窓口の設置
- 「周防大島復興緊急対策資金」の創設

⑤その他の生活支援

- 健康相談窓口の設置
- 被害者相談会の開催支援



柳居議長の素早い対応に感謝

周防大島町長

椎木 巧

十月二十二日未明外国船籍の貨物船が大島大橋に衝突し大橋は橋桁が折れ、十六箇所が損壊し普通車以上の車は通行できなくなると共に、水道管や光ケーブルなどを切断したため、断水は四十日も続きました。

この事故が発生した時点で柳居県議長は、今回の事故が過去に例を見ない大事故であり郡民に甚大な影響が出ることから、山口県のトップである村岡県知事、弘中副知事をはじめ幹部職員を、自らが本橋や送水管の現場確認調査に案内し、素早い応急復旧に取り組んでいただきました。

これには膨大な予算と高度な技術力に加え短期の復旧が求められ、大きな政治的決断と県政を動かせるような実力と実行力がなければならぬこととあり、瞬く間に応急復旧工事がスタートしました。

また一方では、事故発生直後すぐに県選出国會議員と共に政府、国土交通省、厚生労働省、外務省など関係官庁に要望を行い、支援と協力を取り付けられました。まさに全国都道府県議会議長会会長としての人脈とその実力を大いに発揮いただきました。

応急復旧も順調に進み、十一月末には橋の通行規制は解除され断水も解消。しかしながらこの間、町民が受けた損害は甚大であり、加害船舶会社への損害賠償請求が今後の大きな課題であります。

このピンチを大島の再生のチャンスに変えるべく、柳居先生を先頭に取り組んでまいります。



柳居先生を先頭に復興を迅速に

周防大島町議会 議長 荒川 政義

十月二十二日未明に外国船籍の大型貨物船が大島大橋に衝突し甚大な損傷を与え、町民の生活や町の経済が多大な被害を受けました。事故後のドイツの船舶所有相手方の謝罪には柳居先生にも同席いただき、町民の難渋に対し誠意ある対応を取るよう、町長と共に強く抗議いただきました。

また橋の通行が大きく規制され、飲用水や生活用水の確保が困難な中、一時も早く日常を取り戻すため急ぎよ村岡県知事、柳居県議長に同行し、椎木町長と共に国への復旧・復興支援の要請ができました。

お陰で橋の応急補強や広域水道の仮復旧工事も完了し、各家庭への給水が始まりました。

この度の事故による被害は、加害会社に求償していかなければなりません。相手方が海外の会社で交渉が困難であるため、柳居先生の御尽力により弁護士団を組織いただきましたので復興への取り組みを迅速に、さらには弱者にも陽があたりよう全力で取り組んでまいります。

課題解決に向けて、全力で！

柳居 俊学

この度の、大島大橋への貨物船衝突事故により被った切実な被害についてのご報告や、復興に向けての力強いメッセージを各方面よりいただきました。心より御礼を申し上げます。

皆様のお声をしっかりと国や県にお届けし、その課題の解決に向けて、全力で取り組んでまいります。

課題は山積しています。これから引き続きダメージを受けた産業への支援、非常時の海上輸送のための港湾整備、一本の送水管だけに頼ることで、今年二回も大島全域で断水となりました。その対応として、水資源のバックアップ体制を推進することなど、早急に進めなければなりません。

さらに、周防大島町民が事故により多くの負担を強いられ、苦渋している現状を国に訴え、この度の事故にかかる法の適用外となる補償について救援法を整備し、弱者や一方的に被害を被った人が不当な負担を受けていることを放置することがないように、強く国にも働きかけてまいります。

最後に長期間にわたる断水中、不自由な中、助け合い、支え合いして地域を守って下さいました多くの皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。

皆様こそ郷土の誇りです。これからも、力を合わせてまいります。



復興支援策の一環「がんばっちょるけー！周防大島」(道の駅・12月15~16日)

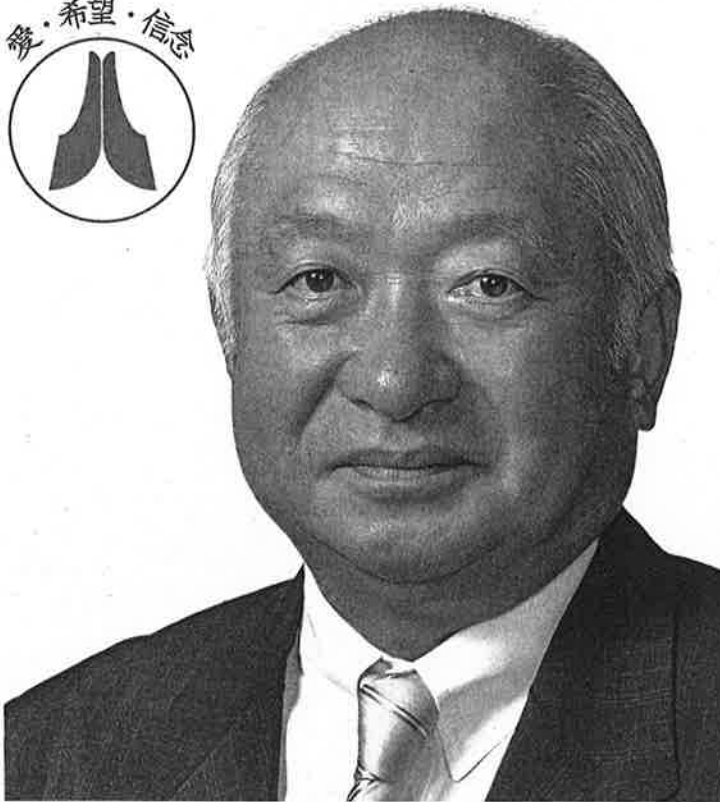
俊和

県政報告

柳居俊学事務所
〒742-2921 山口県大島郡周防大島町西方
TEL.(0820)78-1235
FAX.(0820)78-2118

新しい時代へ 地方創生と周防大

全国都道府県議会連合会会長
山口県議会 議長 柳居俊学



謹賀新年。希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

開かれた議会に

山口県議会では、皆様方の温かいご支援、ご協力のもと、公正で円滑な議会運営や、議会活動の活性化に努めるとともに、「開かれた議会」を目指しているところです。また現在、全国都道府県議会連合会の会長という大役を仰せつかっておりますが、地方の思いや提案をしっかりと国・政府に届け、真の地方分権社会の実現、地方自治の発展に引き続き全力で取り組んで参ります。

安倍総裁三選

国政では、九月に行われた自由民主党総裁選挙で、安倍総裁が三選され、第四次安倍内閣が発足しました。安倍総理・政権には、引き続き、「経済の好循環」実現に向けた経済再生や、働き方改革、地方創生に取り組まれるとともに、社会保障制度改革や財政健全化、さらには憲法改正議論の活性化といった、日本の平和と繁栄を守る、骨太の政策を長期的な視野に立つて、果敢に遂行していただきたいと期待しています。

村岡知事再選

県政におきましては、二月に山口県知事選が行われ、村岡知事が見事再選を果たされ、十月には新たな総合計画となる「やまぐち維新プラン」を策定されて、未来を切り拓き、「活力ある山口県の実現」に邁進されています。また明治百五十年プロジェクトの中核イベントとして開催された「山口ゆめ花博」は、目標の五十万人を大きく上回る三三六万人を超える皆様にご来場いただき大盛況の内に閉幕しました。テーマに掲げられた「未来への種まき」とおり、維新の精神に学び、それを次世代へ継承し、その先の時代へ向かって飛躍するための大きな契機になったと確信しています。

大島大橋外国貨物船衝突事故

十月には、わが周防大島と本土を結ぶ大島大橋が、外国貨物船の衝突によりライフラインが寸断され、四十日におよぶ大島全域にわたる断水や大島大橋の車両通行規制が続きました。多くの皆様の懸命の努力で、今は断水も解除され、大橋の通行も出来るようになりました。引き続き、町・県・国、関係機関と緊密に連携し、大島大橋の本復旧をはじめ、郡民の皆様の生活や地域経済の回復に向けた数々の取り組みを推進して参ります。四十三年前に、あの瀬戸に大橋を架けた先人の皆様の熱い思いをしっかりと受けとめ、復興に向けて全力で取り組む覚悟です。

大島創生

さらにわが周防大島では、昨年四月には東和庁舎が完成し、十月には全国過疎シンポジウム2018inやまぐちにおいて、平成三十年度過疎地域自立活性化優良事例表彰が行われ優良事例団体として総務大臣賞を受賞しました。

さらに地域ブランドの果実酒等の販売を通じて、地域農産物の利用を図る「周防大島ワイン特区」について、周防大島町が認定されました。

引き続き周防大島高校安下庄校舎の新築及び改築工事、久賀・大島地区公共下水事業、さらに「白木半島地区元気生活圏づくり推進事業」など新しい地域づくり、人づくりの事業も始まっています。共に力を合わせて取り組んで参りましょう。

新しい年、新しい時代へ

本年は、天皇陛下が四月三十日に御退位され、五月二日に皇太子殿下が御即位され、平成の次の新しい時代が始まります。本年が皆様にとりまして輝かしく素晴らしい年となりますよう心から念願いたします。新年のご挨拶といたします。



▶新年明けましておめでとう、ございます。昨年十月二十二日、わが周防大島は、大島大橋への貨物船衝突事故によって甚大な被害を受けた。

▶その様子は、テレビや新聞でも大きく報道され、全国各地からお見舞いをいただき、支援の輪も広がった。

▶この事故が発生した直後、柳居議長は、「この事故は、私の長い政治生活の中でも最大規模の事故であり、郡民に重大な影響が出る」と受けとめ、すぐに村岡知事、弘中副知事、県の関係者を大島に呼ばれ、早急に応急復旧に取り組みを始めた。

▶さらに、県選出の国会議員のご協力をおおき、政府、国土交通省、厚生労働省、外務省など協力と支援を取りつけ、報道機関にも協力を要請し、一気に周防大島の復旧支援の輪を広げる原動力となった。

▶柳居議長の働きがなければ、このような迅速な復旧はなかったろう」と多くの関係者から聞く。これも長い政治経験と幅広い人脈で培ってきた信用のたまものであり、たぐいまれなる実行力がなければ出来ないことである。

▶この長期間にわたる断水中、不自由な中、助け合い、支え合いして地域を守って下さった方々こそ、この郷土の誇りだ。その方々が不当な負担を受けていることを放置することが無いように国にも働きかけた」と柳居議長は力強く言う。郡民の力に少しでもなればと、奮闘は続く。

▶今年も周防大島の大黒柱として、益々の活躍を期待している。



基地問題議員連盟連絡協議会 総会

2018年 柳居俊学 県政活動報告



1/12 岩国基地問題議員連盟連絡協議会

衆議院議員 岸信夫と集う会 周防大島町 新春の集い



1/14 衆議院議員 岸信夫と集う会



1/8 安倍晋三新春の集い



1/15 村岡つぐまさ 周防大島町 総決起大会



1/29 総務大臣 感謝状贈呈式



2/3 周南市徳山駅前にぎわい交流施設オープン



2/5 知事と自民党役員との面談



自由民主党副幹事長 参議院議員
北村経夫国政報告会および新春懇話会

2/17 北村経夫国政報告会および新春懇話会



2/19 レノファ山回FC 表敬訪問

ベトナム・ビンズン省訪問団歓迎夕食会



3/14 ベトナム・ビンズン省訪問団歓迎会

2018年 柳居俊学 県政活動報告



3/15 ● ゆめほっぺ出発式



3/19 ● 県消防表彰式



4/3 ● 「生産性向上・人材創造拠点」看板掲出式



4/13 ● 「明治150年シンボルロード」サイクルスポーツ普及拠点竣工式



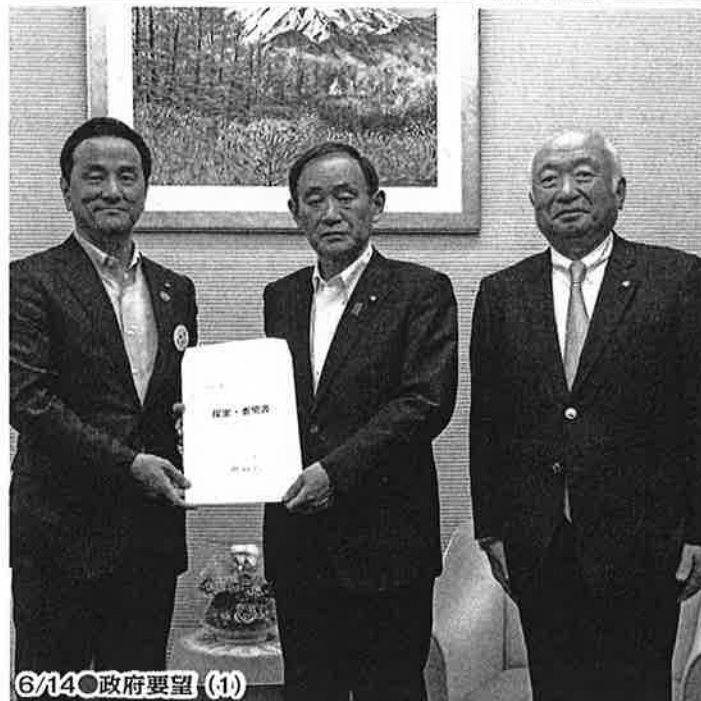
4/18 ● やまぐち移住就農促進センター開所式



5/12 ● 幕末維新回廊オープニングセレモニー



5/22 ● 中国五県議会正副議長会議



6/14 ● 政府要望 (1)



6/14 ● 政府要望 (2)

2018年 柳居俊学 県政活動報告



6/23 ●平成30年沖縄県全戦没者追悼式



7/26 ●安倍総理と



7/10 ●岸信夫衆議員国政報告会

安倍晋三内閣総理大臣を囲む会



8/11 ●安倍晋三内閣総理大臣を囲む会



8/15 ●全国戦没者追悼式



9/20 ●安倍総裁再選報告会



9/21 ●第45回山口県商工会議所議員大会



10/3 ●全国都市緑化祭 (記念植樹)



10/7 ●明治150年記念式典

2018年 柳居俊学 県政活動報告



10/19 ● 全国議長会役員による自民党岸田政調会長への要請活動



10/26 ● 周防大島町でのドイツ船会社謝罪



10/28 ● 自民党政経セミナー

第28回全国産業教育フェア山口大会

さんフェアやまぐち2018 繋げよう 未来へのかけ橋! 維新の地 山口から



10/29 ● 全国産業教育フェア



10/29 ● 韓国慶尚南道議会表敬訪問



10/30 ● 第4回高校生県議会

山口ゆめ花博



11/10 ● 全都道県議会議長会定例総会 (1)

第161回 全都道府県議会議長会 定例



11/10 ● 全都道県議会議長会定例総会 (2)

2018年柳居俊学 県政活動報告

下関北九州道路の整備促進を図る参議院議員の会



11/20 下関北九州道路の整備促進を図る参議院議員の会



11/20 大島大橋事故に係る特別要望



11/4 断水の関係者との会議



11/6 防長英霊の塔慰霊祭



11/8 ラオス訪問団面談

都道府県議会議員交流会



11/13 都道府県議会議員研究交流会



11/15 政府要望



11/16 県選奨式



周防大島町役場東和庁舎が完成

○4月1日、周防大島町役場東和庁舎が開庁しました。軽量鉄骨二階建、一階は東和総合支所・二階は教育委員会(総務課・学校教育課)が入り、町東部地域の拠点として整備されました。



日系移民150周年記念式典

○現地の6月6日第59回海外日系人大会、6月7日日系移民150周年記念式典がホノルルで開催されて、会場内に周防大島町ブースが設けられて、ハワイ移民資料館の移民データ検索を設置して来場者に好評でした。



山口ゆめ花博の周防大島町デー

○明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」の中核イベントとして山口ゆめ花博開催中の「市町デー」10月13日に、周防大島町はステージイベントに各団体によるフラ・和太鼓演奏が行われ、特産品の販売・JA山口大島みかん販売・もちまきが行われました。

創立70周年の柑きつ振興センター

○柑きつ振興センターは、昭和23年の創立から70周年を迎えました。昭和30年以降は農業構造改善事業を導入し、水田転換での新規開田、昭和50年代在来温州ミカンから高糖系への品種転換、平成10年以降は県オリジナル品種「せとみ(ゆめほっぺ)」の産地化やブランド化を進めています。



地家室海域公園～アワサンゴ群生地～

○地家室海域公園(ニホンアワサンゴ群生地)において、エコツーリズム推進に向けた水中ドローンの実証実験を行い、ニホンアワサンゴの保全活用の新たな取組を検証する「白木半島地区元気生活圏づくり推進事業」が実施されます。

「ふるさとオーディション」からCDデビュー

○島に輝け★星野哲郎えん歌の里「ふるさとオーディション」から誕生した、初代チャンピオン「岳三ひろし」さんのデビューシングル「巖門」が道の駅サザンセトとうわ、竜崎温泉、グリーンステイながうら、遊湯ランド等でCDが好評発売中です。





「周防大島復興のスタートに！」

周防大島町長
榎木 巧

あけましておめでとうございます。俊和会会員の皆様には輝かしい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。柳居俊学先生におかれましては山口県議会議長、全国都道府県議会議長会会長として大活躍されておられますことに対し、心から敬意を表するものであります。

さて、昨年は周防大島町にとって大きな話題と試練の年でありました。七月には中国地方を豪雨が襲い周防大島町でも住宅の全壊、半壊や町道、農道などに甚大な被害を受けました。八月には町内に帰省中の二歳の子供が行方不明となり、三日目に無事保護され、スーパーボランティアなる流行語が生まれました。九月には大阪からの逃走犯が周防大島町に長期間滞在していたことが判明。「周防大島町の人々はとてもやさしく人情味のある方ばかりであった。又、訪れたい。」とのコメントを残していましたが、ある種複雑な思いのした事件でした。

十月には大島大橋にドイツの海運会社が所有する貨物船「エルナ・オルデンドルフ号」が衝突し、水道管と光ケーブルなどを切断する事故が発生しました。切断された水道管は島への唯一の送水管であり、町内全域の九、〇〇〇世帯で断水し、六、〇〇〇人の生活が麻痺しました。大島大橋も鋼鉄製の橋桁が大きく損壊し、強度が低下したため一時は全面通行止めとなり、その後、普通車までの片側通行の交通規制と風速五以上の風による通行止めが行われ、通勤、通学や物流は遮断され、住人の生活に大きな影響を及ぼしましたが、皆様のご尽力により十二月二十七日には応急復旧により橋の交通規制が解除され、十二月一日には断水も解消しました。

約四十日間の厳しい現実、大島大橋一本にライフラインを依存することの恐怖が現実問題となりました。しかし今度の事態ばかりは想定外のしょうがないものであり、常識的に考えてあり得ないことでありますが、このピンチをチャンスに変えるべく、本格的な復興に向け総力を挙げて取り組まなければなりません。

今年、平成最後の年でありまして、四月には山口県議会議員選挙であります。俊和会の皆様と共に全力で必勝を期して邁進いたします。

新春にあたり柳居先生のますますのご活躍と俊和会のご隆盛、会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。



一致団結して頑張ろう

周防大島町議会議長
荒川 政義

あけましておめでとうございます。会員各位におかれましては、健やかに輝かしい新春をお迎えのことと存じます。さて柳居先生におかれましては全国都道府県議会議長会会長に就任の後、その重責を担ってのご活躍を心からお慶び申し上げます。

昨年を顧みますと七月の西日本大水害で浮島においても大規模な土砂崩れで人家が被災しました。

また、一月の送水管破断事故、十月には、外国船が大島大橋に激突し橋桁や送水管などを大破させる重大事故が発生しましたが、柳居先生のご尽力で予測された期間よりも早く、給水が開始され、県や町でも復興に向けた各種支援予算が確保されております。

周防大島町議会も復興へ全力で取り組んでいかなければなりません。また四月の統一地方選挙においても完勝をめざして、俊和会会員一同団結して頑張つていきたいと思います。

結びに先生のお一層のご活躍と会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶いたします。



「周防大島ワイン特区」

○地域ブランドの果実酒等の販売を通じて、地域農産物の利用を図る「周防大島ワイン特区」について、周防大島町が認定され、交流人口の拡大や農業と観光の連携による地域活性化が期待されています。



総務大臣賞を受賞

○10月25日の全国過疎問題シンポジウム2018inやまぐちにおいて、周防大島町が農業漁業等の地場産業と観光交流を図る体験型修学旅行で、平成30年度過疎地域自立活性化優良事例表彰が行われ、優良事例団体として総務大臣賞を受賞しました。



平成30年度

県政と周防大島のくらし



山口県議会議長

柳 居 俊 学

ご あ い さ つ

皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、山口県議会をはじめ様々な活動に格別のご支持とご支援を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年2月に私は、山口県議会第63代山口県議会議長に選任いただきました。また7月には、第71代全国都道府県議会議長会の会長という大役を仰せつかりました。

皆様方の変わらぬ温かいご支援とご協力をいただきまして、山口県議会の公正かつ円滑な運営と、山口県のさらなる発展、県民福祉の向上のため全力で取り組むとともに、都道府県議会の代表として、地方創生の着実な推進に尽力してまいります。

今年は、明治改元から150年の記念すべき年「明治維新150年」です。明治維新を成し遂げた先人に学びつつ、新しい時代を切り拓く新たなスタートの年です。

山口県においては村岡嗣政県知事を中心に、「活力みなぎる山口県」の実現を目指して挑戦を続けおり、その結果、成果目標のうち8割以上が達成見込みとなるなど、着実にその実績を上げているところです。

一方で、周防大島町・山口県ともに大きな課題の人口減少、とりわけ社会減少には依然として歯止めがかからず、多くの問題に直面しています。

こうしたことから、山口県では新たな150年のスタートに立ち、この山口から新たな維新を起こす「産業維新」・「大交流維新」・「生活維新」の『3つの維新』を掲げ、県民の皆様と力を合わせ一丸となって、山口県の新しい時代を切り拓いてまいります。

この『3つの維新』を必ず成し遂げ、「活力みなぎる山口県」を実現するため、皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたします。

「県政と周防大島の暮らし」平成30年度版は、山口県の柳井管内出先機関による本年度の重点施策、課題を話し合う「大島地区情報交換会」を基に、町・県の予算と町民生活の結びつきを紹介するもので、皆様のお役に立てていただければ幸甚に存じます。

終わりに、皆様方の益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



山口県議会議長 柳 居 俊 学

写真で見る 活動報告



▲ 安倍総理に要望

▼ 九州北部豪雨の義援金手交



▲ 全国都道県議会議長会会長就任挨拶

▼ 中国5県議会正副議長会議



▼ 県内12JA合併締結式



▲ 自民党総務部会





▲ 福田達夫防衛政務官面談



▼ 山口デスティネーションキャンペーン



◀ 内閣総理大臣と都道府県議会議長との懇談会



▲ 全国都道府県議会議長会総会



▼ 山口ゆめ花博1年前イベント



▲ 海上自衛隊岩国航空基地記念式典

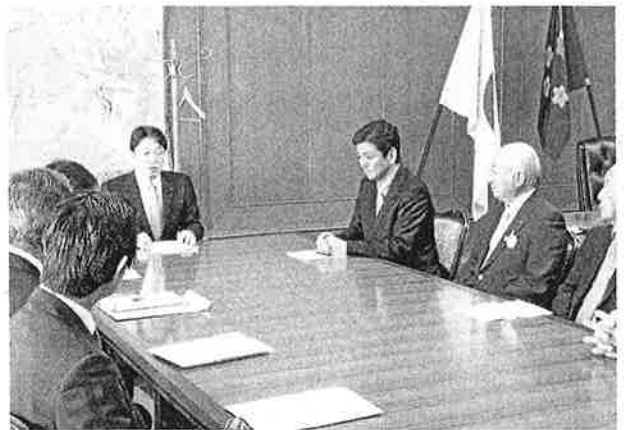


▲ 拉致問題を考える国民の集い in 山口



▲ 内閣総理大臣面談

▼ 自民党参議院役員面談



▲ 小野寺五典防衛大臣面談



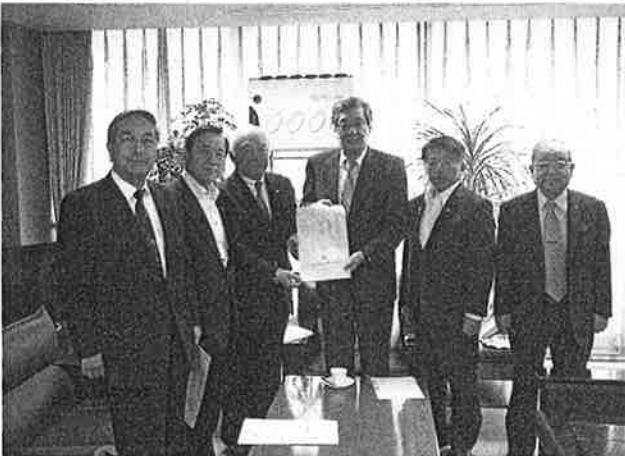
▲ 大殿中学校県議会見学



▲ 花を贈ろうキャンペーン



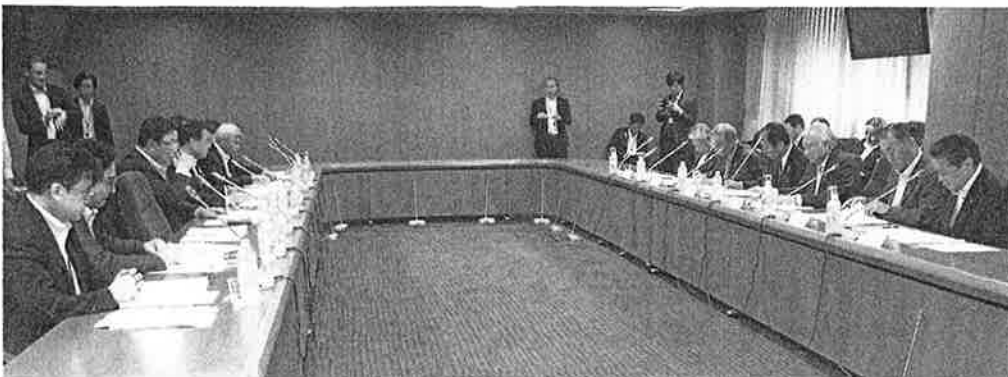
国と地方との協議
(安倍総理・各大臣)



▲ 自民党（竹下亘総務会長）に要望



▲ 公明党に要望



まち・ひと・しごと創生
担当大臣と地方6団体の
意見交換会

目 次

平成 30 年度山口県予算	1
平成 30 年度周防大島町の主要事業	4
柳井土木建築事務所	5
柳井農林水産事務所	11
柑きつ振興センター	20
柳井健康福祉センター	25
柳井県民局	27
柳井県税事務所	30
柳井警察署	31
周防大島高等学校	33



「活力みなぎる山口県」の実現 平成30年度 山口県予算



I 予算編成の基本的な考え方

極めて厳しい財政状況の中、平成33年度を目途とする、収支の均衡した自立・安定的な行政基盤の確立を目指し、徹底した行財政改革に取り組むとともに新たな施策を構築し、その推進に重点的に取り組めます。

このため明治150年を契機として、県づくりの主役である県民をはじめ、県全体の活力を高めるとともに、その高まりやこれまでの県づくりの成果を活かし、新たな時代を切り拓く『3つの維新』への挑戦を始動します。

また、当初予算編成過程を通じ、財政健全化に向けた行財政構造改革の確実な具現化に取り組む、『3つの維新』への挑戦を支える、揺るぎない行財政基盤の確立に一定の道筋をつけました。

これらを踏まえ、平成30年度当初予算を『3つの維新』発信予算」と位置づけ、新たな県づくりを速やかに進めます。

(1) 「明治150年」開花と未来への継承

県民や市町をはじめ、県内のあらゆる主体と一体となって取り組む「山口ゆめ花博」の開催などを通じて県全体の活力を高め、明治150年を契機とするこれからの県づくりにつなげます。

(2) 新たな『3つの維新』の始動

これまでの県づくりの成果の上に立ち、重要課題である人口減少や地方創生の実現など、県政が直面する課題に立ち向かっていくため、山口県の未来を切り拓く『3つの維新』への挑戦に向けた、新たな施策を推進します。

(3) 財政健全化に向けた行財政構造改革の確実な具現化

行財政統括本部で取りまとめた方向性に沿って、歳出構造改革や財源確保対策の取り組みを確実に具現化し、収支の均衡した財政構造への転換に向けた一定の道筋をつけました。

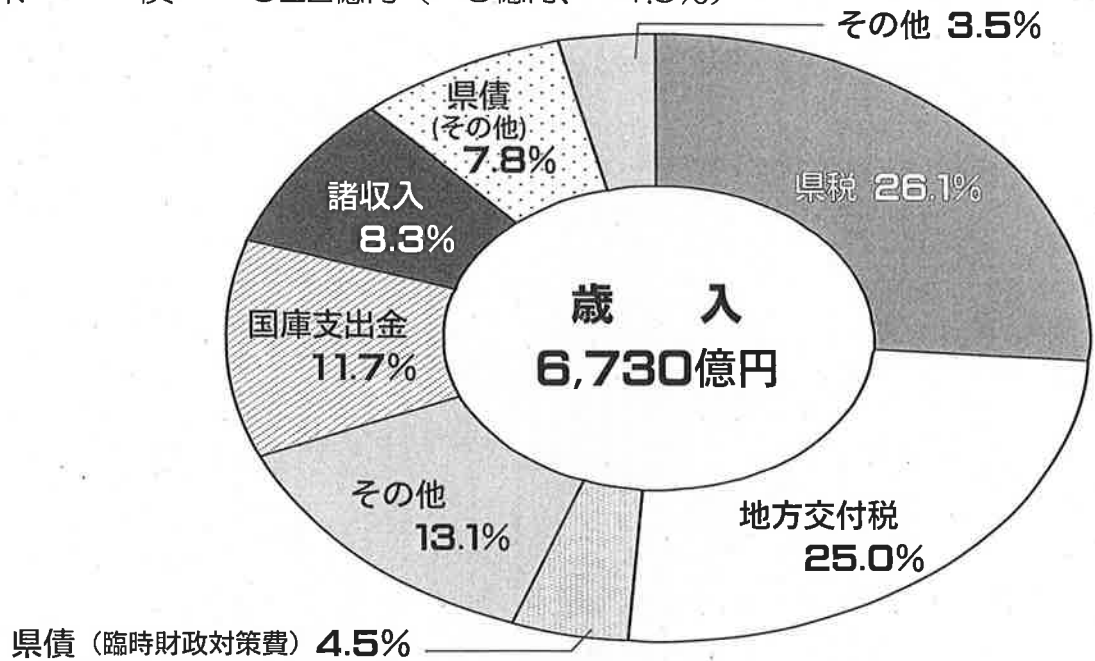
◇当初予算規模（一般会計）

6,730億円（対前年度比 -79億円 -1.2%）

平成30年度 山口県当初予算

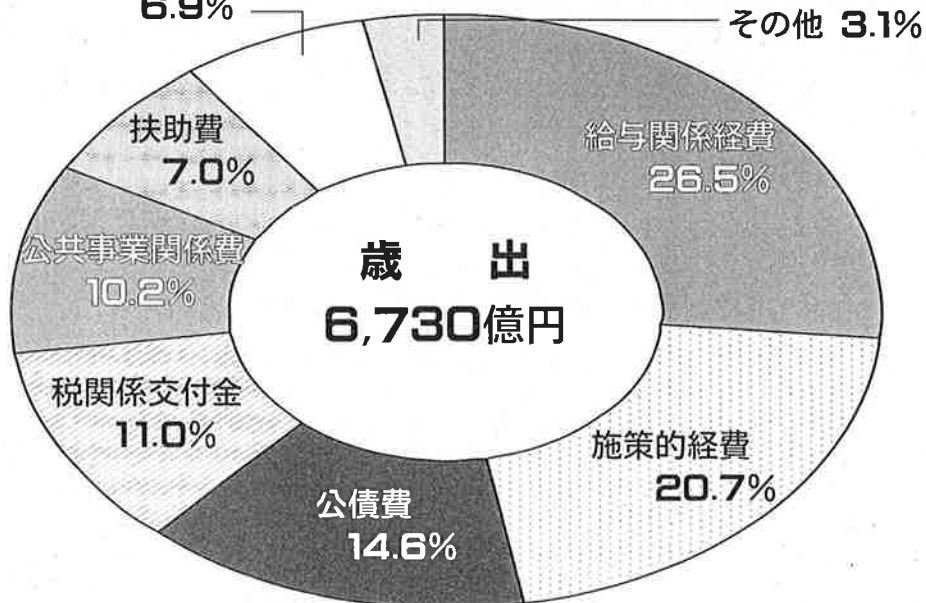
歳入 (一般財源・特定財源別内訳) ()は前年度比

- ◇県 税 1,758億円 (+7億円、+0.4%)
- ◇地方交付税 1,684億円 (+7億円、+0.4%)
- ◇国庫支出金 788億円 (0%)
- ◇県 債 522億円 (-8億円、-1.5%)



歳出 (主要項目別内訳) ()は前年度比

- ◇給与関係経費 1,782億円 (-25億円、-1.4%)
- ◇公 債 費 986億円 (-70億円、-6.6%)
- ◇公共事業関係費 684億円 (-17億円、-2.4%)
- ◇施策的経費 1,397億円 (-29億円、-2.0%)
- 一般行政経費 6.9%



II 新規重点事業の概要

(事業件数)

(1) 明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」	9
① 山口ゆめ花博開催事業・推進事業・会場整備事業	
② 「幕末維新回廊」推進事業	
③ 明治150年記念 未来へ繋ぐ人材育成事業	
④ 明治150年記念事業	
⑤ 明治維新150年やまぐち幕末ISHIN祭推進事業	
⑥ 全国産業教育フェア山口大会開催事業	
⑦ 維新やまぐち魅力発信事業	
(2) 産業維新	18
① 産業力の強化と成長分野でのイノベーションの創出	1
② 中堅・中小企業の成長・安定・創業支援	7
③ 強い農林水産業の育成	10
(3) 大交流維新	11
① 国内外との交流の拡大	6
② 国内外への売り込みの強化	4
③ やまぐちへの人の還流・移住の促進	1
(4) 生活維新	40
① 結婚から子育てまでの切れ目ない支援	6
② 働き方改革の推進	4
③ 快適な暮らしづくりの推進	3
④ 新時代を創造する子供たちの育成	5
⑤ 誰もが活躍できる地域社会の実現	7
⑥ 防災・減災対策の強化	4
⑦ 保健・医療・介護の充実	4
⑧ 安心して暮らせる環境づくりの推進	3
⑨ 活力ある地域づくりの推進	4



平成30年度周防大島町の主要事業

(事業費・千円)

(1) 安心して子供を産み育てられる町づくり

○子育て世代包括支援センター事業	466
○地域連携アシスタント事業	2,600
○ちびっ子医療費助成事業	16,150
○中学生医療費助成事業	6,362
○地域子育て支援拠点事業	22,359
○児童手当事業	122,710
○語学留学支援事業	1,872

(2) 働く意欲の湧き出る町づくり

○農業振興地域整備計画策定事業	7,926
○子育て定住促進住宅建設事業	137,333
○有害鳥獣捕獲事業	22,320
○新規就農者確保事業	21,000
○産地競争力強化対策事業	20,667
○ニューフィッシャー確保育成推進事業	13,788
○種苗放流育成事業	10,787

(3) 自然と環境にやさしい町づくり

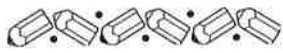
○公共下水道・漁業集落排水長寿命化計画策定事業	37,100
○合併浄化槽設置整備事業	27,656
○久賀・大島地区公共下水道事業	1,036,846
○東和片添地区公共下水道事業	70,000

(4) 晩年を豊かで安心して過ごせる町づくり

○給水自動車整備事業	12,656
○耐震性防火水槽整備事業	46,009
○成人用肺炎球菌ワクチン接種事業	3,890
○漁港漁場機能高度化保全事業	120,800
○海岸保全整備事業	48,900
○海岸堤防等老朽化対策事業	49,500
○道路新設改良事業	123,650

(5) 次世代に素敵な未来を約束する町づくり

○コンビニ収納導入事業	1,188
○地域おこし協力隊事業	16,468
○定住促進対策事業	5,390
○空き家有効活用事業	11,587
○企業誘致対策事業	2,613
○地域づくり活動支援事業	2,600



1 平成30年度予算

(1) 土木建築部

(単位 千円)

	平成30年度 予算	平成29年度 当初予算	増減額	伸び率(%)
補助公共 (再編関連含む)	43,261,388	41,376,930	1,884,458	104.6%
単独公共	10,692,674	11,568,496	-875,822	92.4%
その他 (直轄事業負担金・災害復旧費)	10,980,547	11,107,952	-127,405	98.9%
合計	64,934,609	64,053,378	881,231	101.4%

(2) 柳井土木建築事務所

	平成30年度 予算	平成29年度 当初予算	増減額	伸び率(%)
補助公共 (再編関連含む)	5,014,699	4,518,971	495,728	111.0%
単独公共	708,317	1,032,718	-324,401	68.6%
合計	5,723,016	5,551,689	171,327	103.1%

(3) 周防大島町

	平成30年度 予算	平成29年度 当初予算	増減額	伸び率(%)
補助公共 (再編関連含む)	3,104,178	2,652,386	451,792	117.0%
単独公共	218,692	491,185	-272,493	44.5%
合計	3,322,871	3,143,571	179,300	105.7%



県道工事 (安下庄)



下水道処理場工事 (久賀)

平成30年度当初予算一覧表【周防大島町】(補助関係)

柳井土木建築事務所

主観課名	補助単独	事業名	路河川名	箇所名 地区(工区名)	事業費(円)		補助率 (%)	市町負 担率(%)	事業内容	新規完了
					H29当初	H30予算				
道路整備課	補助	道路防災(防安交付金 修繕)地	(主) 大島環状線	西安下庄	0	31,500,000	50.5	0	土工、法面工	継続事業
道路整備課	補助	道路防災(防安交付金 法定修繕)国	(国) 437号	森野横断歩道橋	0	10,500,000	55.6	0	横断歩道橋補修	継続事業
道路整備課	補助	道路防災(防安交付金 法定修繕)地	(主) 大島環状線	たちばなトンネル	0	3,150,000	55.6	0	トンネル補修工	継続事業
道路整備課	補助	道路防災(防安交付金 法定点検)地	管内一円		0	10,500,000	55.6	0	トンネルストック点検(周防大島)	H30新規
道路整備課	補助	橋梁補修(防安交付金 長寿)地	(一) 大島橋線	榎木原橋ほか	42,000,000	63,000,000	55.6	0	橋梁補修	継続事業
道路整備課	補助	橋梁補修(道路更新防災等対策)国	(国) 437号	大島大橋	423,150,000	409,500,000	55.6	0	橋梁補修	継続事業
道路整備課	補助	橋梁補修(防安交付金 法定点検)	管内一円		19,320,000	13,230,000	55.6	0	橋梁点検	継続事業
道路建設課	補助	道路改良(防安交付金 法定点検)	(主) 大島環状線	古城	10,500,000	52,500,000	50.5	0	土工、法面	継続事業
道路建設課	補助	道路改良(総合安全交付金・合併)	(国) 437号	久賀弧幅	136,500,000	152,250,000	55.55	0	護岸工、消波工	継続事業
道路建設課	補助	道路改良(防災安全交付金・特・合併・交安)	(主) 大島環状線	西安下庄	160,000,000	319,552,000	100	0	用地補償、測量	継続事業
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(主) 橋東和線	地家室	55,000,000	45,000,000	100	0	トンネル工事	継続事業
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(一) 飯山公園線	瀬戸	0	5,000,000	100	0	測量、調査、設計	H30新規
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(主) 大島環状線	吉浦	0	50,000,000	100	0	保安林解除、補償	H30新規
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(主) 大島環状線	志佐	0	50,000,000	100	0	土工、法面	H30新規
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(主) 大島環状線	小松	0	20,000,000	100	0	構造物設計、用地測量	H30新規
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(主) 橋東和線	地家室(2)	0	30,000,000	100	0	測量、調査	H30新規
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(主) 橋東和線	安高~地家室~片添	0	20,000,000	100	0	測量、調査、設計	H30新規
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(主) 橋東和線	片添	0	30,000,000	100	0	用地、保安林解除、道台工	H30新規
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(主) 橋東和線	和佐~伊保田	0	10,000,000	100	0	測量、調査、設計	H30新規
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(一) 油田港線	両源田	0	10,000,000	100	0	修正設計	H30新規
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(一) 油田港線	両源田~伊保田	0	5,000,000	100	0	測量、調査	H30新規
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(一) 地家室白木港線	西方	0	40,000,000	100	0	測量、用地補償	H30新規
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(主) 大島橋線	吉兼~棟畑	0	10,000,000	100	0	測量、調査、設計	H30新規
道路建設課	補助	道路改良(再編関連)	(一) 文珠山公園線	西三浦	0	20,000,000	100	0	用地測量、用地補償	H30新規
道路建設課	補助	交通安全(防災安全交付金・特)	(主) 大島環状線	横見	260,000,000	183,750,000	55.55	0	橋梁下部工、橋梁上部工、護岸工	継続事業
都市計画課	補助	過疎地域下水道代行事業	久賀・大島処理区		555,660,000	706,648,000	50	27.5	管梁工	継続事業
都市計画課	補助	過疎地域下水道代行事業	久賀・大島処理区		315,000,000	329,700,000	55	24.75	機械・電気設備(処理場)	継続事業
砂防課	補助	防安・通常砂防(重点)	神領川	東屋代	31,500,000	31,500,000	50	0	渓流保全工	継続事業
砂防課	補助	防安・通常砂防	小方南川	西屋代	15,750,000	5,250,000	50	0	用地補償	継続事業
砂防課	補助	防安・通常砂防	神領南川	東屋代	10,500,000	5,250,000	50	0	用地補償	継続事業
砂防課	補助	防安・通常砂防	徳神1	東屋代	10,500,000	5,250,000	50	0	用地補償	継続事業
砂防課	補助	総流防・砂防	万城川	西安下庄	31,500,000	105,000,000	50	0	本堤工、流路工	継続事業
砂防課	補助	防安・急傾斜	北石(4)	小松	10,500,000	5,250,000	47.5	5	用地測量	継続事業
砂防課	補助	総流防・急傾(重点)	油良郷(2)	油良	0	15,750,000	45	10	測量、調査、設計	H30新規
河川課	補助	海岸堤防等老朽化対策	戸田地区海岸	戸田	10,500,000	30,000,000	50	8	設計、護岸工	継続事業
河川課	補助	海岸堤防等老朽化対策	小伊保田海岸	小伊保田	10,500,000	30,000,000	50	8	設計、護岸工	継続事業
港湾課	補助	港湾改修(再編関連)	伊保田港	伊保田	0	62,000,000	100	0	胸壁整備	H30新規
港湾課	補助	港湾改修(再編関連)	伊保田港	伊保田	35,000,000	35,000,000	100	0	駐車場・旅客通路	継続事業

【周防大島町の事業】（補助関係）

主管課名	補助 単独	事業名	路河川名	箇所名 地区（工区名）	事業費（円）		補助率 （％）	市町負 担率（％）	事業内容	新規完了
					H29当初	H30予算				
港湾課	補助	防・港湾施設改良（機能強化）	久賀港	久賀	0	31,500,000	33.3	25	浮桟橋改良	H30新規
港湾課	補助	防・海岸高潮対策	沖浦西港	戸田	47,250,000	31,500,000	50	8	離岸堤	継続事業
港湾課	補助	防・海岸高潮対策	沖浦港	秋	15,750,000	15,750,000	50	8	護岸改良	継続事業
港湾課	補助	防・海岸浸食対策	久賀港	久賀	0	10,500,000	50	8	護岸改良	H30新規
港湾課	補助	防・海岸老朽化対策	小松港	小松	10,500,000	10,500,000	50	8	排水施設	継続事業
港湾課	補助	防・海岸老朽化対策	小松港	小松	10,500,000	8,400,000	50	0	護岸補修	継続事業
道路整備課	補助	橋梁補修（防安交付金 長寿）地	(主) 大島環状線	中央大橋ほか	29,400,000	0	-	-	橋梁補修	継続事業
道路整備課	補助	道路防災（防安交付金 法定修繕）地	(主) 大島環状線	開作横断歩道橋	3,150,000	0	-	-	横断歩道橋補修	継続事業
道路整備課	補助	舗装補修（防安交付金）国	(国) 437号		21,000,000	0	-	-	舗装補修	継続事業
道路整備課	補助	橋梁補修（防安交付金 耐震）地	(主) 大島環状線	新明新橋	84,000,000	0	-	-	橋脚補強	継続事業
砂防課	補助	総流防・砂防	尾殿川	和和	52,500,000	0	-	-	-	H29完了
砂防課	補助	防安・急傾斜	三ツ松北（1）	安下庄	21,000,000	0	-	-	-	H29完了
砂防課	補助	防安・急傾斜	赤石	戸田	10,500,000	0	-	-	-	H29完了
港湾課	補助	港湾改修（港整備交付金）	伊保田港	伊保田	60,795,000	0	-	-	-	H29完了
港湾課	補助	港湾改修（港整備交付金）	久賀港	久賀	20,790,000	0	-	-	-	H29完了
港湾課	補助	港湾改修（港整備交付金）	小松港	小松	17,721,000	0	-	-	-	H29完了
港湾課	補助	港湾改修（港整備交付金）	久賀港	久賀	3,150,000	0	-	-	-	H29完了
河川課	補助	津波高潮危機管理対策事業	横見海岸	横見	10,500,000	0	-	-	-	H29完了
河川課	補助	津波高潮危機管理対策事業	苅佐海岸	苅佐島	10,500,000	0	-	-	-	H29完了
技術管理課	受託	学校施設整備事業	周防大島高校 (安下庄校舎)	西安下庄	80,000,000	0	-	-	-	H29完了
H30当初計（補助）					2,652,386,000	3,069,180,000				
道路整備課	補助	道路防災（防安交付金 修繕）地	(主) 大島環状線	西安下庄	-	29,999,160	50.5	0	土木、法面工	継続事業
道路整備課	補助	道路改良（防災安全交付金・特・合併・交安）	(国) 437号	久賀拡幅	-	4,999,320	56		護岸工、消波工	継続事業
H29補正計（補助）					0	34,998,480				
小計（補助）					2,652,386,000	3,104,178,480				

【周防大島町の事業】（単独関係）

主管課名	補助 単独	事業名	路河川名	箇所名 地区（工区名）	事業費（円）		補助率 （％）	市町負 担率（％）	事業内容	新規完了
					H29当初	H30予算				
道路整備課	単独	単独交通安全2種	管内一円	管内一円	14,210,000	8,300,000	0	0	交通安全施設（事故対策等）	継続事業
道路整備課	単独	単独舗装補修	管内一円	管内一円	21,800,000	17,800,000	0	0	舗装補修、道路台帳修正	継続事業
道路整備課	単独	単独舗装（公道債）	(国) 437号		0	20,000,000	0	0	舗装補修	継続事業
道路整備課	単独	単独路側整備	管内一円	管内一円	24,300,000	26,800,000	0	0	道路施設新設・更新	継続事業
道路整備課	単独	単独道路災害防除（県道）	管内一円	管内一円	10,000,000	8,000,000	0	0	陥没対策	継続事業
道路建設課	単独	単独道路改良（通常）	(主) 大島環状線外	管内一円	0	20,000,000	0	0	発注者支援業務	H30新規
道路建設課	単独	単独交通安全二種（県道）	(主) 橋東和線	外入	0	10,000,000	0	0	道台工	継続事業
都市計画課	単独	過疎地域下水道代行事業（受託）	久賀・大島処理区		70,000,000	58,800,000	0	100	管渠工	継続事業
都市計画課	単独	単独都市公園整備事業	片添ヶ浜海浜公園		800,000	1,000,000	0	10	施設補修	継続事業

【周防大島町の事業】（単独関係）

主管理課名	補助 単独	事業名	路河川名	箇所名 地区（工区名）	事業費（円）		補助率 （%）	市町負 担率（%）	事業内容	新規完了
					H29当初	H30予算				
都市計画課	単独	単独都市公園整備事業（起債）	片添ヶ浜海浜公園		4,000,000	2,000,000	0	10	施設補修	継続事業
砂防課	単独	自然災害防止（砂防）	西川	秋	10,000,000	10,000,000	0	10	流路工	継続事業
砂防課	単独	自然災害防止（急傾斜）	松ヶ崎	小松開作	4,000,000	5,000,000	0	10	法砕工	継続事業
砂防課	単独	単独砂防改良（臨時河川）	外入川	外入	0	1,500,000	0	0	護岸工	H30新規
砂防課	単独	単独砂防改良（臨時河川）	中浜川	伊保田	4,000,000	2,000,000	0	0	床固工	継続事業
砂防課	単独	単独砂防改良（通常）	長浜川	西方	1,500,000	1,500,000	0	0	護岸工	継続事業
砂防課	単独	単独砂防改良（通常）	管内一円		500,000	540,000	0	0	砂防施設巡視	継続事業
河川課	単独	単独河川改修（臨債）	山根川	日前	4,000,000	2,000,000	0	0	根継工	継続事業
河川課	単独	単独河川改修（臨債）	一本松川	西屋代	0	1,000,000	0	0	石積工	継続事業
河川課	単独	単独河川改修（臨債）	流田川	久賀	0	2,000,000	0	0	腹付工	H30新規
河川課	単独	単独河川改修（臨債）	古川	西安下庄	2,000,000	2,000,000	0	0	腹付工	H30新規
河川課	単独	単独河川改修（臨債）	立田川	西方	0	1,200,000	0	0	根継工	H30新規
河川課	単独	単独河川改修（臨債）	屋代川	西屋代	4,300,000	3,700,000	0	0	浚渠工	継続事業
河川課	単独	単独河川改修（臨債）	椋野本川	椋野	0	1,000,000	0	0	浚渠工	H30新規
河川課	単独	単独河川改修（臨債）	一本松川	西屋代	0	1,000,000	0	0	浚渠工	H30新規
河川課	単独	単独河川改修（臨債）	管内一円		300,000	352,200	0	0	河川・海岸施設巡視	継続事業
河川課	単独	単独河川改修（通常）	管内一円		200,000	200,000	0	0	河川緊急パトロール	継続事業
河川課	単独	単独自然災害防止（海岸）	横見海岸	横見	5,000,000	4,500,000	0	30	護岸高上げ	継続事業
河川課	単独	単独自然災害防止（海岸）	津海木海岸	津海木	0	2,000,000	0	30	導流堤補修	H30新規
河川課	単独	単独自然災害防止（海岸）	日見海岸	日見	0	4,500,000	0	30	防波堤補修	H30新規
砂防課	単独	自然災害防止（急傾斜）	小泊西	小泊	3,000,000	0	-	-	擁壁工	継続事業
河川課	単独	単独河川改修（通常）	三浦川	西三浦	3,000,000	0	-	-	根継工	継続事業
河川課	単独	単独河川改修（臨債）	山根川	日前②	3,000,000	0	-	-	根継工	継続事業
河川課	単独	単独河川改修（臨債）	宮崎川	久賀	2,000,000	0	-	-	浚渠工	継続事業
河川課	単独	単独自然災害防止（海岸）	日長居海岸		3,000,000	0	-	-	突堤補修	継続事業
道路建設課	単独	単独交通安全一種（県道）	(主)大島環状線	小松	8,000,000	0	-	-	測量設計	H30再編
道路建設課	単独	単独道路改良（合併支援・指定）	(主)大島環状線	古城	120,000,000	0	-	-	-	H30再編
道路建設課	単独	単独道路改良（県道）	(主)大島環状線	志佐（1）	2,000,000	0	-	-	-	H30再編
道路建設課	単独	単独道路改良（県道）	(主)大島環状線	古城	1,000,000	0	-	-	-	H30再編
道路建設課	単独	単独道路改良（県道・特）	(主)橘東和線	片添	1,000,000	0	-	-	-	H30再編
道路建設課	単独	単独道路改良（県道）	(一)地家室白木港線	西方	10,000,000	0	-	-	-	H30再編
道路建設課	単独	単独道路改良（県道）	(一)文珠山公園線	西三浦	5,000,000	0	-	-	-	H30再編
道路整備課	単独	単独道路災害防除（県道）	(主)大島環状線	家房	7,000,000	0	-	-	-	H29完了
河川課	単独	屋代ダム単独堰堤修繕	屋代ダム	屋代ダム	2,275,000	0	-	-	-	H29完了
技術管理課	受託	学校施設整備事業	周防大島高校 (安下庄校舎)	西安下庄	140,000,000	0	-	-	-	H29完了
小計（単独）					491,185,000	218,692,200				
合計（補助＋単独）					3,143,571,000	3,322,870,680				

2 平成30年度の取組

(1) 道路改良・交通安全事業概要

周防大島町の道路網は、一般国道437号を中心に、主要県道大島環状線、橘東和線及びそれらに接続する一般県道8路線を骨格として形成されています。

現在、道路の狭隘部を改良し安全で円滑な交通を確保するため、道路改良事業を実施しており、また、通学路に指定されている路線においては、安全な歩行空間を確保するため、交通安全事業を実施しています。

(2) 砂防・急傾斜地崩壊対策事業概要

周防大島町は、屋代川を除くほとんどの河川が直接海域に流入する単独の溪流となっており、地形は中起伏山地、小起伏山地を主体として構成され、嵩山、文殊山などは海岸部から約2～4kmで標高600mに達する非常に急峻な山となっています。

このため町のいたる箇所が砂防指定地に設定されており、昭和54年、昭和55年、平成5年及び平成17年には、土石流やがけ崩れが発生し、大きな被害を受けました。

現在、土石流等から人命や財産を守るため、砂防ダムの建設を砂防事業で実施しており、また、がけ崩れから人命を守るため、急傾斜地崩壊対策事業を実施しています。

(3) 過疎地域下水道代行事業概要

周防大島町の久賀地区及び大島地区は、公共下水道が未整備です。

このため、財政力や技術力が十分でない町に代わって、県が終末処理場及び幹線管渠の整備を行うことにより、過疎地域の下水道整備を促進し、生活環境の改善や公衆衛生の向上、海域等の公共用水域の水質保全を図るものです。

なお、幹線管渠以外の管路施設の整備は町が行います。

現在、幹線管渠及び処理場を整備しており、今年度は、引き続き幹線管渠と処理場内の機械設備及び電気設備を実施します。

計画規模

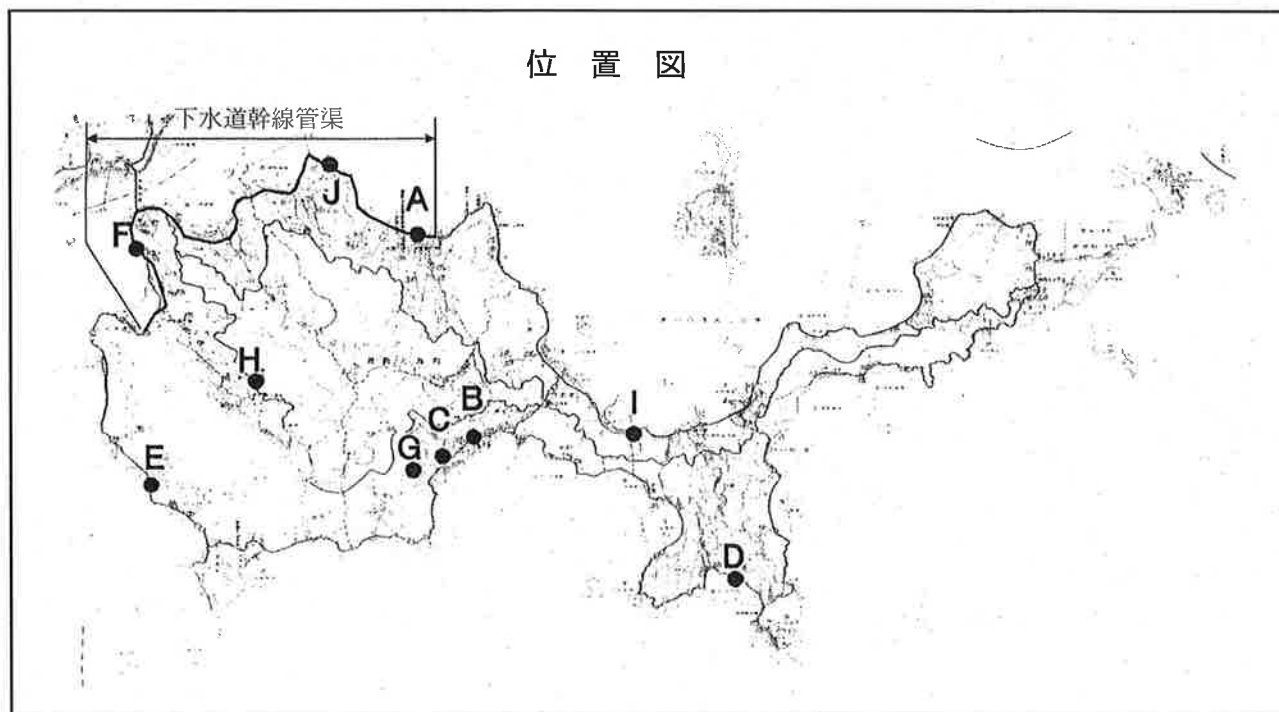
	全 体	旧久賀町	旧大島町
処理面積	281ha	130ha	151ha
処理人口	4,130人	1,900人	2,230人

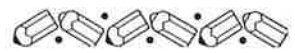
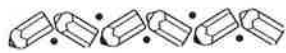


3 平成30年度主要事業一覧表

番号	事業	事業箇所	事業費 (百万円)	事業内容
I	A	道路改良 国導437号 久賀工区	157	道路を海側に拡幅
	B	道路改良 県道大島環状線 古城工区	53	バイパス工事の内、切土法面の保護
	C	道路改良 県道大島環状線 西安下庄工区	320	バイパス工事の内、用地補償、用地 測量
	D	道路改良 県道橋東和線 地家室工区	45	バイパス工事の内、トンネル工
	E	交通安全 県道大島環状線 横見工区	184	歩道設置を含めた道路拡幅工事の内、 橋梁下部工、橋梁上部工、護岸工
	F	交通安全 県道大島環状線 小松工区	20	歩道の拡幅のための用地測量、調査、 設計
II	G	砂防 万城川	105	既設砂防堰堤補修工
	H	砂防 神領川	32	砂防工事の内、流木対策工、溪流保 全工
	I	急傾斜地 崩壊対策 油良郷(2)	16	急傾斜地崩壊対策工事の内、測量、 調査、設計
III	J	過疎地域 下水道代行 久賀・大島地区	1,036	下水道幹線管渠設置及び処理場整 備

4 平成30年度主要事業位置図





<柳井農水産林事務所の取組>

県産農林水産物の需要を拡大し、それに対応できる供給体制づくりを進めることで、農林水産業の活力創出に取り組むこととしています。

具体的には、次の4つの柱に沿って取組内容を体系化し、町、農林水産業団体などと連携して農林水産業・農山漁村の活性化に向けた取組を進めます。



1 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成

農林水産業の未来を担う人材の確保・育成を図るため、関係機関と連携して新規就業者の確保・定着や担い手の育成に取り組むとともに、地域を牽引する中核経営体の経営安定に向けた活動を支援します。特に、農業では、「大島かんきつ産地継承夢プラン」(目標年：平成31年産)の具現化に向けた取組を支援するとともに、関係機関と連携し、次期プランの策定を進めます。

(1) 新規就業者の確保・定着

- ・「周防大島みかんいきいき営農塾」等で、新たな担い手候補の掘り起こし活動を行っています。
- ・「担い手支援日本一」を目指して、町の支援センターや周防大島ファーム(株) (平成29年度設立)とも連携し、新規就農者の確保・育成を行います。



周防大島ファーム設立

(2) 中核経営体の育成と経営基盤の強化

- ・周防大島ファーム(株)の経営管理体制の確立に向けた支援を行います。
- ・平成28年度に設立を支援した「JA山口大島青壮年部」による担い手の経営安定の活動を支援するとともに、新規就業者の連携を進めます。

2 生産意欲と需要を創造する「ぶちうま! 維新」

安定した農林水産物の需要を確保するために、地産・地消拠点施設を核にして「やまぐちブランド」などの地域の特色ある農林水産物の販売と併せ、他産業と連携した地産・地消の取組を推進します。

(1) 地産・地消の取組強化

- ・市場関係者、消費者団体等を対象に、柑きつの産地見学会を開催し、地産・地消へ向けた理解促進を図ります。

(2) 「やまぐちブランド」の育成、GIの推進

- ・「ゆめほっぺ」のPRを積極的に実施します。

(3) 6次産業化・農商工連携の一体的な取組強化

- ・関係機関と連携して6次産業化・農商工連携に取り組む事業者を支援します。



首都圏でゆめほっぺPR
(東京青果㈱：東京都大田区)

3 需要拡大に的確に応える生産力の増強

管内農林水産物に対する需要に確実に応えられるよう、安心・安全な生産を基本に、効率的な生産条件を整備・強化するとともに、法人組織を中心とした担い手による生産体制の強化や、「やまぐちブランド」などの需要のある品目の生産拡大を進めます。

(1) 結びつき強化・需要のある農畜産物の生産拡大

- ・県内一の産地である「ゆめほっぺ」については、パイプハウスやマルチシート敷設、ドリップ灌漑施設、園内作業道、防風・防鳥ネットの整備を進めるとともに、栽培管理の徹底などにより収量や品質の向上を図ります。



冷蔵貯蔵庫

- ・JA山口大島が、平成29年度に導入した冷蔵貯蔵庫を活用し、「ゆめほっぺ」を柑きつの端境期（5月～6月）まで出荷期間を拡大できるよう関係機関で支援します。

(2) 安心・安全な農水産物の供給

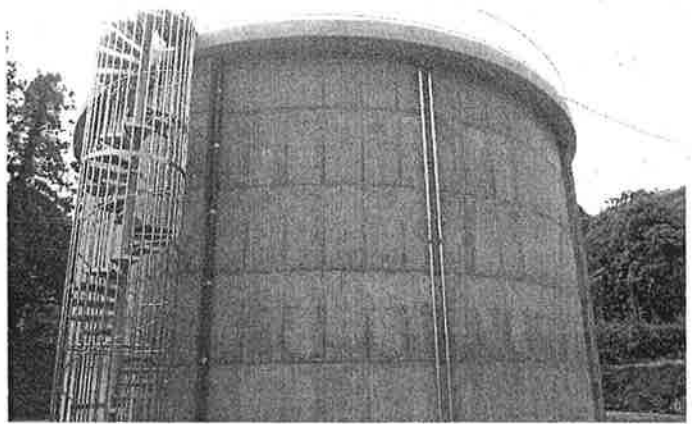
- ・ファーマーズマーケット「島の恵み」の出荷者を対象に、農薬の適正使用の徹底を図っています。

4 生産や地域を支える基盤整備・防災力強化

農林水産業における生産基盤の整備に取り組むとともに、鳥獣被害防止対策の強化ややまぐち森林づくり県民税を活用した荒廃森林及び繁茂竹林の整備、山口型放牧の推進による耕作放棄地の解消等により、災害に強い農山漁村地域づくりに向けた防災機能の強化に取り組みます。

(1) 生産基盤の整備

- ・耕作放棄地を含めた樹園地の利用促進を図るため、再編整備を進めます。
- ・久賀地区の上田ヶ丘工区では、水路の補修や用水路のパイプライン化を進めています。上田ヶ丘工区では、ファームポンドが完成し、パイプラインの整備を行います。
- ・戸田地区では、工事を行うための用地確認や農道の測量設計及び用水施設の調査設計を行い、引き続き、整備に取り組みます。
- ・日良居地区での基盤整備実施に向けた検討を行っています。



上田ヶ丘工区のファームポンド

< 県営農地整備事業実施地区 >

(単位：千円)

事業名	地区名	事業内容	事業期間	総事業費	H30事業費
農地整備事業 (通作条件整備)	周防大島	擁壁・橋梁補強一式	H24～H30	942,000	25,000
農地整備事業 (耕作放棄地型)	久賀	区画整理一式 農業用排水施設一式 農道整備一式	H24～H31	981,000	150,000
農地整備事業 (耕作放棄地型)	久賀	指導(ソフト)	H24～H31	3,960	500
農地整備事業 (耕作放棄地型)	戸田	農業用排水施設 6.8km 農道整備 3.0km 簡易整備 30.4ha 鳥獣侵入防止柵一式	H28～H32	893,000	151,000
農地整備事業 (耕作放棄地型)	戸田	指導(ソフト)	H28～H32	2,500	500

(2) 鳥獣被害防止対策の強化

- ・集落や自治会が地域ぐるみで行う野生鳥獣による農林業への被害防止活動を支援するとともに、市町の鳥獣被害防止対策協議会の取組や広域での被害防止対策への支援など鳥獣被害防止対策に取り組めます。

(3) やまぐち森林づくり県民税の活用

- ・荒廃森林や繁茂竹林の整備を行うとともに、中山間地域の里山整備や市町独自の取組、地域の森林づくり団体による活動を支援します。
- ・地域課題対策として、嵩山から嘉納山を経て文珠山までに至る尾根沿いの遊歩道において、歩道の修理や眺望改善の修景伐採など景観整備を実施しました。

(4) 多面的機能の維持・発揮

- 多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度を推進します。
- 耕作放棄地解消、獣害対策の緩衝帯として、「山口型放牧」の普及を進めます。

(5) 防災・減災機能の強化

- ため池について、地域住民等と連携した防災対策を推進し、必要に応じて逐次、点検・整備を行います。



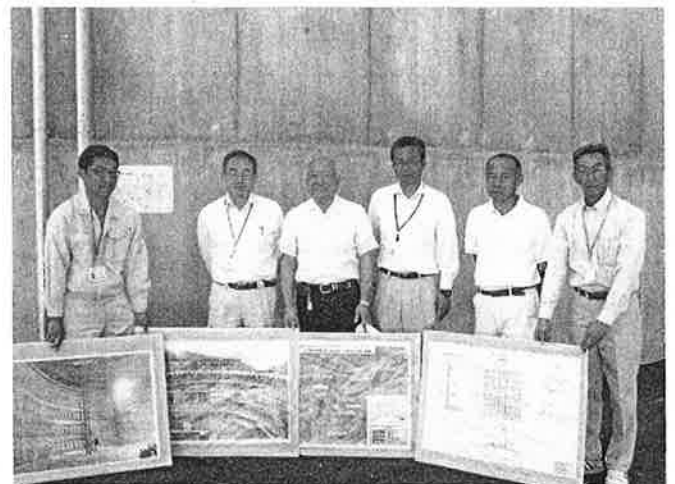
嘉納山山頂周辺の整備



山口型放牧の状況



中山間地域等直接支払いにより共同購入した乗用除草機での作業



1 未来を担う人材や中核経営体の確保・育成

(1) 新規就業者の確保・定着

関係機関と連携し、募集から研修・就業・定着までの一貫した支援体制を構築し、新規漁業就業者を確保するとともに、就業後の収入安定化対策を実施し、地域への定着を推進します。

■新規漁業就業者定着促進事業

事業主体	事業内容	備考
漁業協同組合	・新規就業希望者に対して、就業に必要な技術、知識等を習得させるため、研修支援費を支給	東和町、安下庄各支店より要望あり

<研修中>

受入漁協	漁業種類	研修期間
東和町支店 (4名)	一本釣、採介藻	H27. 9~H30. 8
	一本釣、採介藻	H28.12~H31.11
	採介藻	H28.12~H31. 3
	採介藻、建網	H30. 1~H31.12
安下庄支店	ごち網、いわし網、建網	H29.10~H31. 9

▽経営自立化支援事業

事業主体	事業内容	備考
漁業協同組合	・新たに漁業経営を開始した新規漁業就業者に対して、3年間にわたり支援金を支給	東和町、浮島各支店より事業要望あり

<実施中>

受入漁協	漁業種類	研修期間
東和町支店 (5名)	建網、採介藻、一本釣	H27. 6~H30. 5
	採介藻、一本釣	H28. 9~H31. 8
	建網、かご	H28.12~H31.11
	建網、かご	H29. 9~H32. 8
	ごち網、かご	H29.11~H32.10
安下庄支店 (3名)	建網、採介藻	H28. 1~H30.12
	建網、採介藻	H28. 1~H30.12
	建網、採介藻	H28. 1~H30.12
浮島支店 (2名)	小型機船底びき網、建網、いわし網	H28.12~H31.11
	小型機船底びき網、一本釣、いわし網	H28.12~H31.11
久賀漁協	採介藻、一本釣	H28. 8~H31. 7

▽新規漁業就業者生活・生産基盤整備事業（漁船等のリース）

事業主体	事業内容	備考
漁業協同組合	・新規漁業就業者に賃貸借するために事業主体が整備する費用に対する支援	東和町支店より事業要望あり

<リース中>

事業主体	漁業種類	リース内容	リース期間
東和町支店	建網、さし網	漁船、漁具 他	H25.10～H30. 9
	採介藻、建網	漁船	H26. 3～H31. 2
	採介藻、建網	漁船	H26. 6～H31. 5
	採介藻、建網	漁船、魚探	H26. 8～H31. 7
	採介藻、建網	漁船	H26. 8～H31. 7
	採介藻、建網	漁船、漁具 他	H26. 8～H31. 7
	採介藻、建網	漁船、ネットローラー	H26.12～H31.11
	採介藻、一本釣	漁船	H27.10～H32. 9
	採介藻、一本釣	漁船、漁労機器	H28. 6～H33. 5
	建網、かご	漁船、漁労機器	H28.11～H33.10
	ごち網	漁船、漁労機器	H29. 3～H34. 2
	建網、かご	漁船、漁具 他	H29.10～H34. 9
	一本釣、採介藻	漁船	H30. 3～H35. 2
安下庄支店	さし網、建網	漁船、漁具 他	H26.10～H31. 9
浮島支店	小型機船底びき網、建網 さし網、一本釣	漁船、漁労機器	H28.11～H33.10
	小型機船底びき網、さし 網、いわし網	漁船、漁労機器	H30. 3～H35. 2
	小型機船底びき網、いわ し網	漁船、漁具 他	H30. 3～H35. 2

(2) 地域を牽引する中核的漁業経営体の育成

水産大学の持つ水産経営等の専門的な知見等を活用し、漁業者グループの収益性向上に結びつく取組や雇用型漁業の経営基盤強化を推進します。

■地域を牽引する中核的漁業経営体育成推進事業

▽中核的漁業経営体（雇用型漁業）の経営基盤強化

事業主体	事業内容	対象
山口県漁協	・新たな漁業種類を操業するために必要な漁具・漁労機器の支援 ・新たな漁業種類を学ぶための技術習得（インターンシップ研修）へ支援	雇用型経営体 （まき網・小型底びき網・さし網・敷網・船びき網・いか釣）

▽収益性向上及び共同経営化・法人化支援

事業主体	事業内容	対象
山口県漁協	<ul style="list-style-type: none"> ・浜の活力再生プランに基づき、漁業者グループが実施する収益性向上に結び付く新たな取組に必要な機器整備等を支援 ・水産大学校教員及び税理士等の外部専門家による経営診断や法人化等への支援 	管内漁業者グループ

(3) 指導漁業士及び青年漁業士の確保・育成

関係機関と連携し、漁業者の資質向上のため研修会への誘導・調整、漁協青壮年部活動を支援します。

▽地域のリーダーとなる漁業士の育成

事業主体	事業内容	対象
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業士研修会を開催するとともに、全国レベルの研修会へ漁業士を派遣 ・漁業士を核とした漁協青壮年部活動等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年・指導漁業士 ・漁業士候補者 ・漁青連柳井支部

2 生産意欲と需要を創造する「ぶちうま!維新」

(1) 地産・地消の取組強化

■ぶちうま!維新推進事業

事業主体	事業内容	対象
柳井・大島地域「地産・地消」推進会議	・食育活動への助成	魚料理教室の開催
	・地元農林水産物の需要拡大イベントへの助成	保育園での魚料理の提供 周防大島まるかじりイベント



イワシ網漁

3 需要拡大に的確に応える生産力の増強

(1) 水産資源の適切な管理による漁業生産力の向上

水産生物産卵場や幼稚仔魚育成場となる藻場干潟の保全・再生活動に対して支援します。

■漁業生産増大推進事業

▽沿岸域環境改善支援事業

事業主体	事業内容	支援団体
地域協議会	・漁業者等が行う、国境監視、海難救助、保健休養・交流・教育の場の提供などの、水産の多面的機能を発揮する活動に対する支援	・東和アワサング保全グループ ・大島地区藻場保全グループ ・瀬戸内海再生プロジェクトイン安下庄 ・東和水域監視グループ

栽培漁業（周防大島町）

主な放流魚種

（単位：千尾）

放流魚種	中間育成施設	配布計画	備考
クルマエビ	育成池	260	—
ヒラメ	角型ブロック水槽	99	—
マダイ	育成池	328	—
キジハタ	—	12	直接放流を含む
カサゴ	—	3	直接放流
クロアワビ	—	19	直接放流

4 生産や地域を支える基盤整備

(1) 内海東部地区水産環境整備事業（周防大島町）

キジハタ等定着性魚類の幼稚魚の生残性を高めるため、沿岸に保護礁等を設置することにより水産資源を増大させ、漁業者の所得向上を図ります。

■内海東部地区水産環境整備事業

事業主体	実施地区	事業概要
山口県	周防大島町2箇所	東和地区、大島地区各地先1箇所に増殖場を整備するための測量・設計

〔補助公共〕

漁港漁場機能高度化保全事業

事業主体	実施地区	事業概要
山口県	内海東部栽培漁業センター	機能保全計画策定

市町営漁港漁場機能高度化保全事業

事業主体	実施地区	事業概要
周防大島町	和田漁港	機能保全工事（工事）
周防大島町	日良居漁港	機能保全工事（工事）
周防大島町	前島漁港	機能保全工事（工事）
周防大島町	油田漁港	機能保全工事（工事）

市町営漁港海岸保全施設整備事業

事業主体	実施地区	事業概要
周防大島町	和田漁港海岸	護岸工
周防大島町	白木漁港海岸	護岸工
周防大島町	森野漁港海岸	長寿命化計画策定
周防大島町	志佐漁港海岸	長寿命化計画策定
周防大島町	出井漁港海岸	長寿命化計画策定
周防大島町	白木漁港海岸	長寿命化計画策定

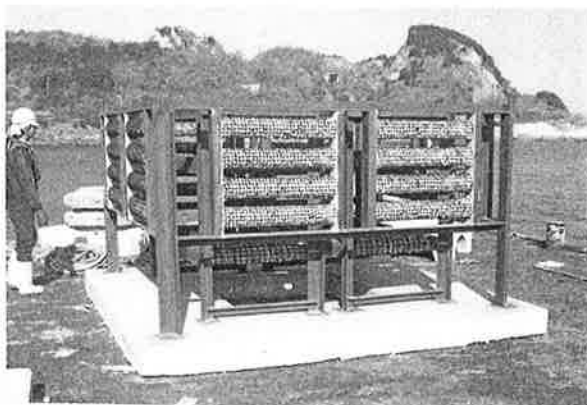
市町営漁業集落環境整備事業

事業主体	実施地区	事業概要
周防大島町	浮島地区	上水管敷設工

〔単独公共〕

単県農山漁村整備事業

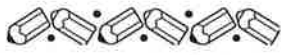
事業主体	実施地区	事業概要
周防大島町	周防大島町地先	たこつぼ産卵礁



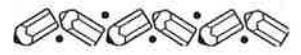
当歳魚保護礁



幼稚魚育成魚礁



県農林総合技術センター農業技術部 柑きつ振興センター



1 試験研究の方針

社会情勢・消費嗜好の変化や産地における高齢化の進行と担い手の減少等、柑きつを取り巻く環境が大きく変化しており、安全で高品質な果実の生産技術や省力・軽作業技術への要求はますます強くなっています。

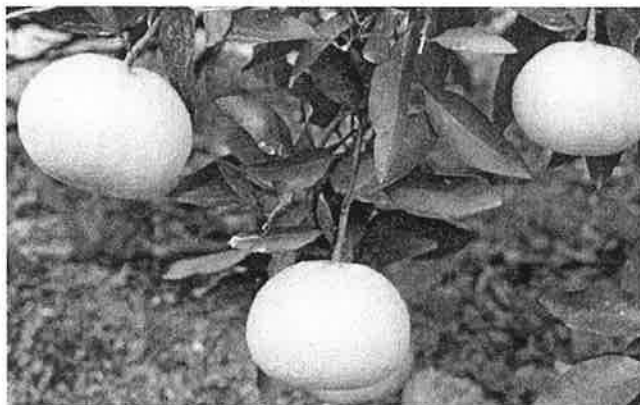
このため「やまぐち農林水産業再生・強化行動計画」に対応し、「やまぐちブランド」の育成につながる技術開発の道筋を示す「山口県農林総合技術センター研究・研修推進計画」に基づいて試験研究を推進します。

2 主な試験研究の内容

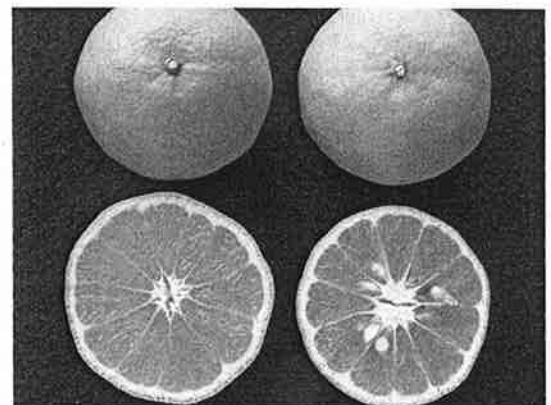
【ぶちうまやまぐちの推進に向けた品種の開発・改良・栽培技術確立】

(1) 柑きつ優良品種系統の育成・選抜

新品種の育成、県内栽培種の枝変わりなどの優良系統探索、農研機構果茶業研究部門や他県の育成した品種系統の適応性試験などにより、商品性の高い品種の開発・育成に取り組んでいます。



〈育成品種「せとみ」商標名：ゆめほっぺ〉
♀清見×♂吉浦ポンカン

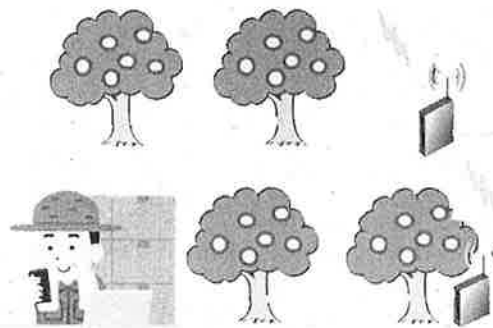


〈育成品種「南津海(なつみ) シードレス」(左)「南津海」(右)の穂木に軟X線を照射して育成した種なし品種

(2) スマートマルドリを活用したカンキツの少水・低コスト型マルドリシステムの構築

テレモニタリング機能

(技術・園地状況の見える化)やテレマネジメント機能(遠隔操作)をマルドリシステムに組み込み、少水・低コスト型のスマートマルドリシステムを構築します。



(3) 「せとみ (ゆめほっぺ)」の生産拡大に向けた熟期促進技術等の開発

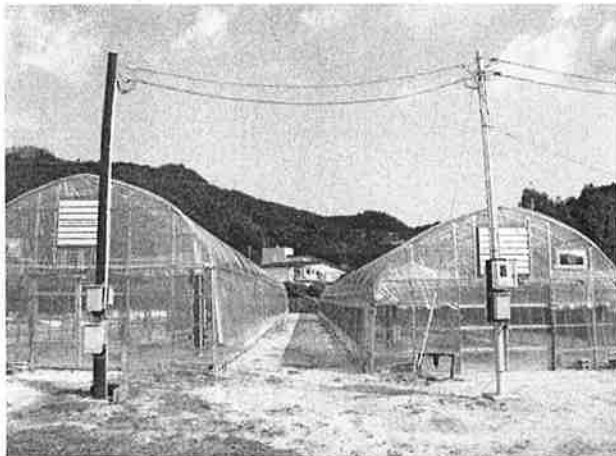
「せとみ (ゆめほっぺ)」において、寒害の回避や無袋栽培による生産拡大を推進するために、糖度向上および着色促進に効果的な結実法や植物調節剤、灌水方法を明らかにして、熟期促進技術を開発します。



(半樹結実とシートマルチの組み合わせ)

(4) 「南津海シードレス」の施設栽培拡大に向けた栽培技術の確立

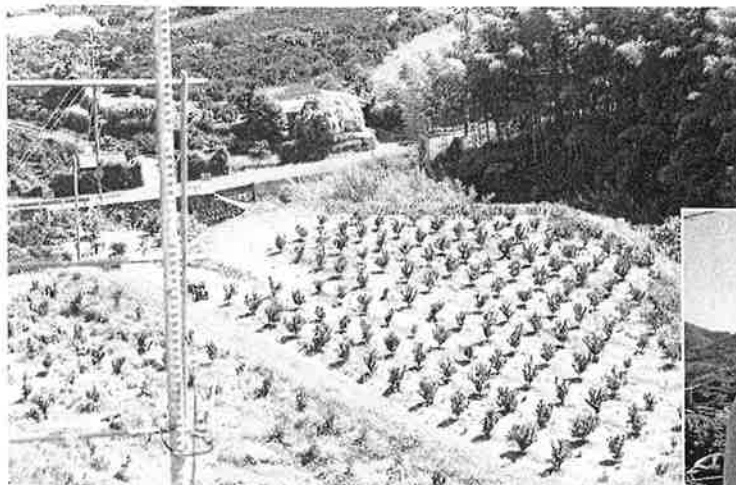
「南津海シードレス」の寒害対策として、少加温ハウスなどの施設導入を推進するため、「南津海シードレス」の低樹高化可能な台木・中間台利用技術を開発し、低軒高ハウス栽培を実証します。



〈低軒高ハウス (右)〉



〈南津海シードレス苗木〉
左：ヒリュウ台、右：カラタチ台



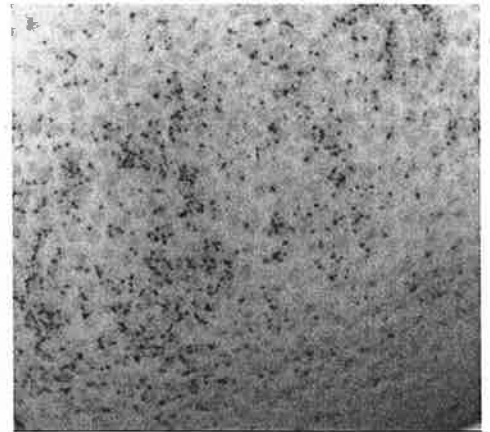
(5) 夏季の高温に起因するカンキツの果皮障害軽減技術の確立

近年、夏季の高温により、温州ミカンのみならず中晩生カンキツにおいても日焼けによる果皮障害の発生が増加しています。

今後、温暖化の進行が予想されることから、障害果実の果皮特性や要因の解明、軽減技術を開発します。



〈日焼け果〉



〈陽光面の黒点病〉

【需要のある品目の品種開発・改良・栽培拡大技術の確立】

(6) 「せとみ」の出荷期対応別貯蔵技術の実証

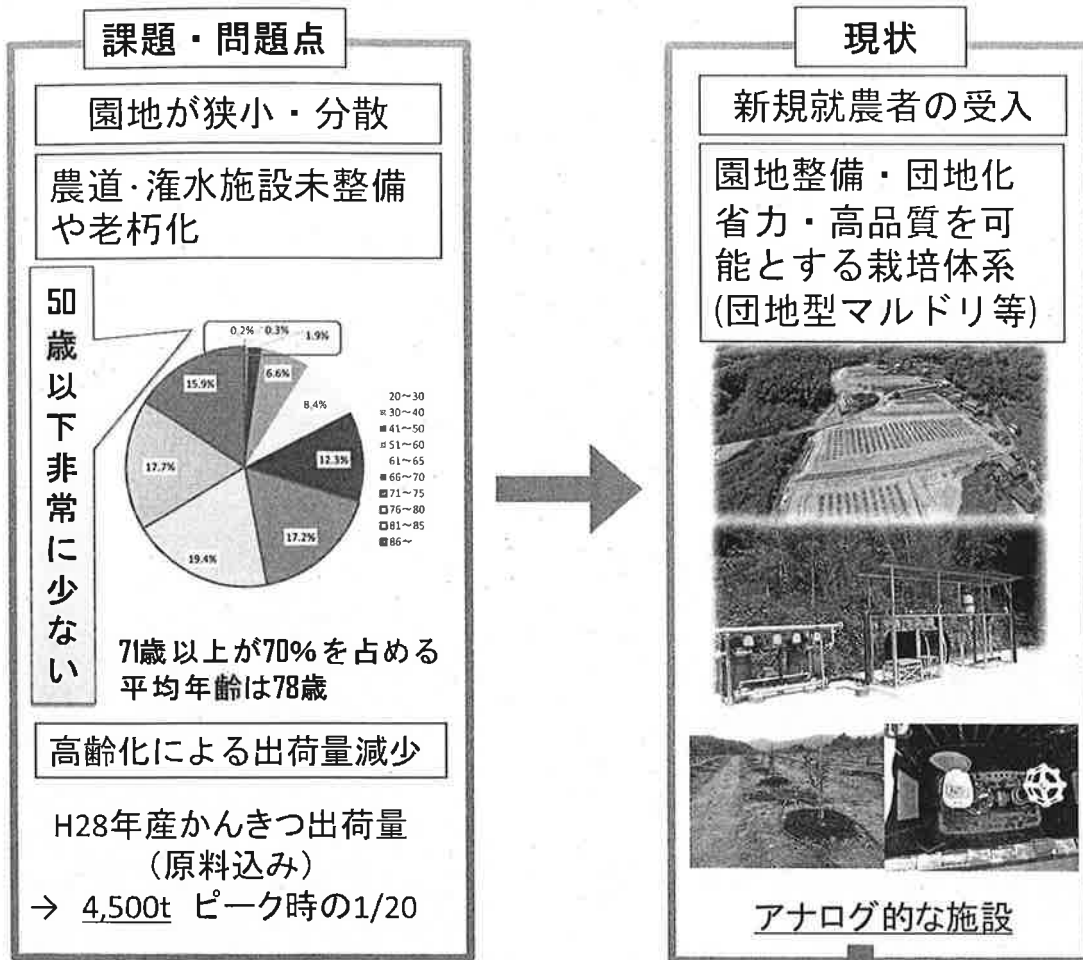
「せとみ」は3月中旬～4月上旬と出荷時期が限られています。そのため、生産量の拡大や計画出荷の対応が求められています。そこで、「せとみ」の長期貯蔵技術を開発して、国産カンキツの端境期である5月以降の出荷を実証します。



〈微細孔フィルムで個包装した「せとみ」〉



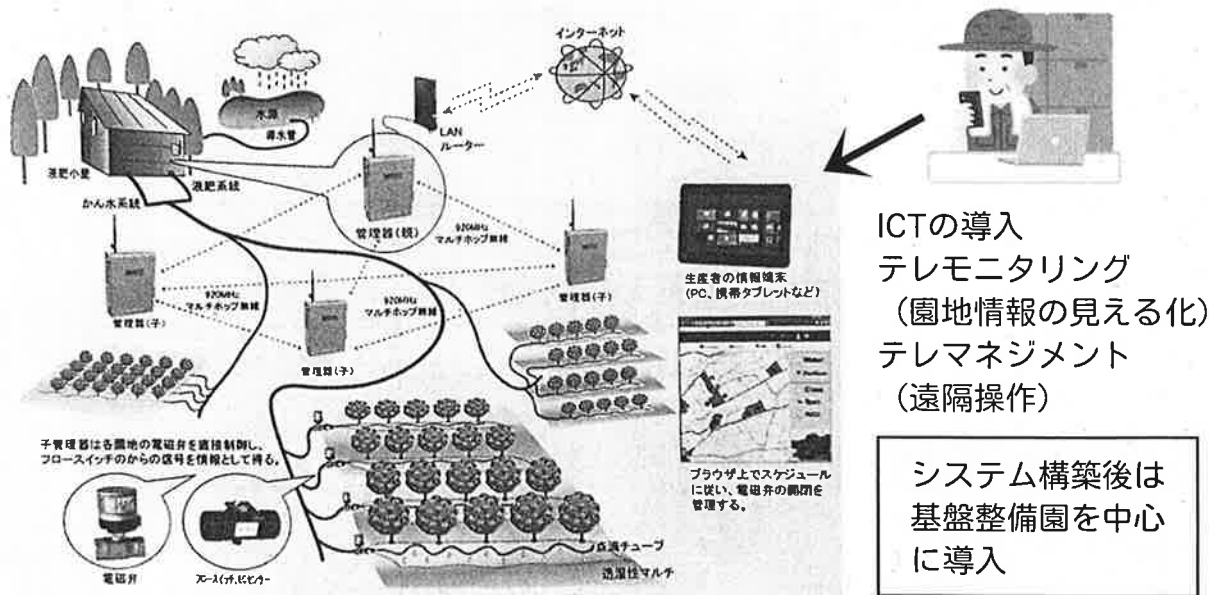
スマートマンドリを活用したカンキツの少水・低コスト型マンドリシステムの構築



スマートマンドリシステムの確立

ICTを活用した効率的な経営

規模拡大・法人化による産地維持



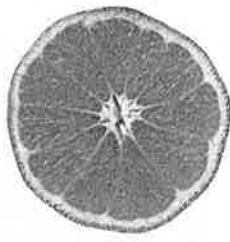
原図提供：(国研) 農研機構 西日本農業研究センター

「南津海シードレス」の施設栽培拡大に向けた栽培技術の確立

○「南津海シードレス」とは





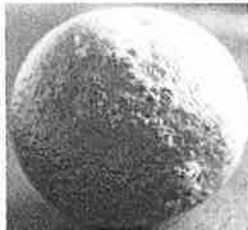
南津海



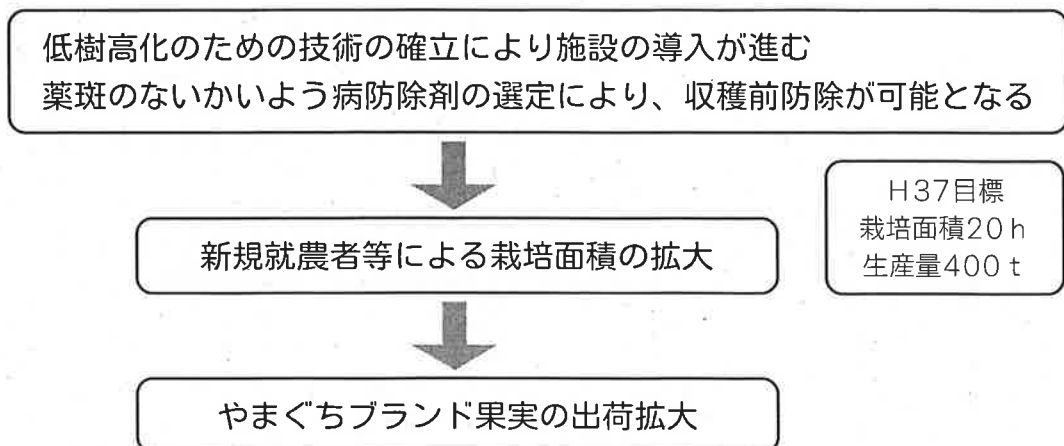
南津海シードレス

- ◆「南津海」を改良した山口県オリジナル品種（種がなく、食べやすい）
- ◆5月以降のカンキツの端境期に出荷できるので、有利販売が可能。
- ◆安定的に栽培するには、施設栽培が必要（冬季の寒害や鳥害対策）

○栽培上の課題と研究内容

栽培上の課題	研究内容
<p>樹が大きくなりやすいため、高さの高い施設が必要</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・高さの低い施設でも可能な栽培技術を開発（わい性台木や中間台木を利用） ・収量、果実品質、作業性を検討 
<p>かいよう病にきわめて弱く、被害多発</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月～5月の防除適期に散布可能で果実に汚れの生じない防除薬剤の選定（微生物防除剤、展着剤など） ・春の有力伝染源となる病斑形成抑制法開発

○得られる成果





1 結婚から子育てまでの切れ目のない支援について

人口減少の大きな要因の一つである「少子化の流れ」を変えるため、「結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援」を重点的に推進する。

(1) 出会いと結婚支援

やまぐち結婚応援センターの運営

○県内4カ所（山口、下関、萩、岩国）に窓口を設置し、会員登録、お相手検索、引き合わせから交際、成婚にいたるまで結婚に向けた出会いや交際を支援

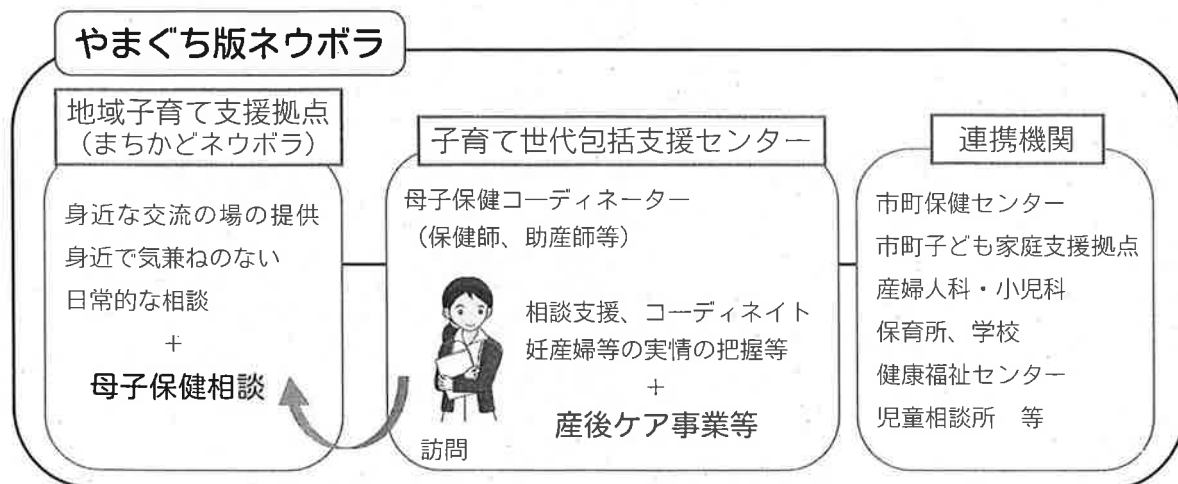
▼ 結婚応援センター実績 [H30.2.28]

会員数 1,583人、マッチング数 3,675件、交際成立件数 845件、結婚報告件数 24件

(2) 妊娠・出産から子育て支援

新 やまぐち版ネウボラの推進

○妊娠期から子育て期の相談支援をワンストップで行う子育て世代包括支援センターの設置を促進するとともに、妊産婦等がより身近な場所で必要なサービスが受けられるよう「やまぐち版ネウボラ」を推進



※ネウボラ：フィンランド語で「アドバイスの場所」を意味し、妊娠期から就学前にかけて、自治体が切れ目なくサポートしてくれるしくみ・拠点

[H29年度末] 地域子育て支援拠点153箇所、子育て世代包括支援センター11市（箇所）

(3) 社会全体による結婚・子育て応援の推進

「やまぐち結婚応援パスポート」、「やまぐち子育て応援パスポート」

- 新婚世帯等が協賛事業所で優待サービスを受けられるパスポートの発行
- 子育て家庭が、協賛事業所で料金割引等の優待サービスを受けられるパスポートの発行

協賛事業所数：結婚応援 638 [H30.2.28]、子育て応援 2,133 [H30.2.28]



2 健康寿命の延伸対策について

健康寿命の延伸を目指し、健康づくりの「見える化」、「日常化」、「ガバナンス強化」の3つを柱に、ライフステージに応じた健康づくり対策、生活習慣の改善、社会環境の整備の推進に取り組み、県民総参加の健康づくりを促進するとともに、生活習慣病予防のため、特定健診やがん検診の受診促進を図る。

(1) 県民総参加の健康づくり促進（新やまぐち ぶち元気っちゃ！事業）

健康づくりの「見える化」

○個人の健康状態や取組成果をわかりやすく把握できる「見える化」と、分析結果を活用してより効果的な取組に反映する

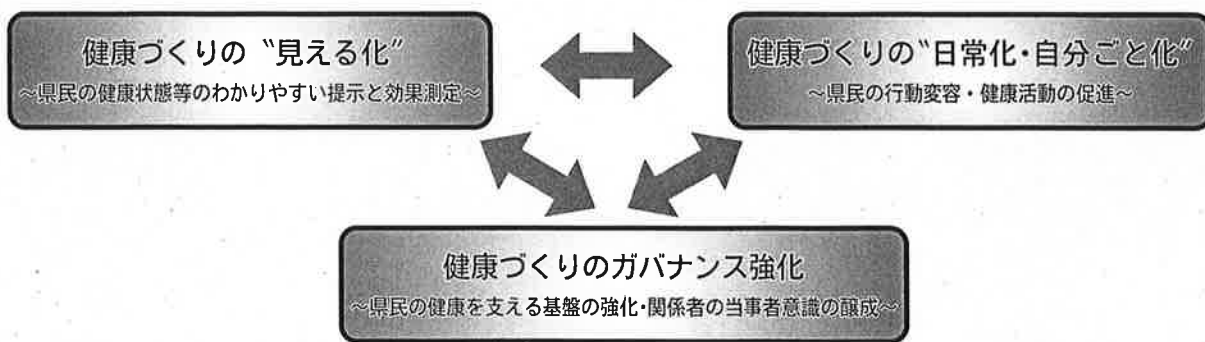
健康づくりの「日常化」

○アプリの活用などにより、健康づくりを主体的に、楽しく取り組むことで「日常化」させ、その継続的な実践と定着を図る

健康づくりの「ガバナンス強化」

○行政等の関係者をはじめとした健康づくりの推進体制の活性化、強化を図り、県民の自発的な取組の促進やその実効性を高め、県民総参加の健康づくりの実践体制を整備

県民一人ひとりが主体となり、健康づくりを日常的に継続して行うことができるように、県民総参加の推進体制の強化と関連する施策の総合的な推進を図り、県民の健康寿命の延伸につなげる。



(2) 特定健診・がん検診の受診促進

特定健診

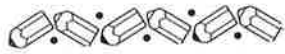
○これまでの個人に対する周知・啓発に加え、被用者保険者（健康保険組合、協会けんぽ）と共同での取組を促進

- ・市町と被用者保険者との協定締結により、連携・協力関係の下地を形成
- ・市町国保と被用者保険者による集団健診の共同実施
- ・企業の定年退職者向け説明会で、国保移行後の健診受診について説明

がん検診

○がん検診受診率50%超をめざし、普及啓発や受診勧奨、受診環境整備等の取組を強化

- ・職域でのがん検診の受診機会のない被扶養者（家族）に対する周知・啓発
- ・休日・平日夜間におけるがん検診実施体制の確保（9月～12月実施）
- ・効果的な取組事例の各市町への情報提供、特定健診との同時受診の促進



1 中山間地域の活性化の取組について

(1) 白木半島地区における元気生活圏づくり

ア 夢プランの策定（平成29年12月臨時総会）

「白木半島に新しい人の流れを創る」など3つの柱に沿った22の取組項目を決定

イ 夢プランの実践（平成30年4月通常総会）

【平成30年度の主な取組】

- ①高齢者等の暮らしを支援する「有償助け合いサービス」の取組
→ごみ出し・分別、買物代行、家屋清掃サービスを7月開始予定
- ②朝市の開催
→五条の千本桜、白木山ハイキング、小積の河津桜で実施
- ③花咲き・蝶舞う白木半島づくり
→農道地家室承兼線の雑木伐採等（県庁中山間応援隊（5/26））
アサギマダラを呼ぶフジバカマ挿し木講習会の開催（5/28）
- ④水中ドローン実証実験（やまぐち元気生活圏活力創出事業の活用）
→アワサングの保全・活用に繋げる取組
- ⑤空き家実態調査の実施
→空き家の状況を住宅地図に記載して見える化



農道雑木伐採作業

(2) その他の地域への波及（平成30年度県の主な支援策）

ア **新** やまぐち元気生活圏活力創出事業（P28参照）

イ **新** 中山間地域振興特別対策事業（P29参照）

- ・特別支援員の配置
- ・集落機能維持・活性化支援（補助金）

【平成30年度 県の主な支援策】

I **新** やまぐち元気生活圏活力創出事業 130,000千円

中山間地域の活力を創出するため、「元気生活圏」の実現に向け、市町や地域が主体的に取り組む地域づくり活動をソフト・ハード両面から支援する。

1 事業内容

(1) 活動強化事業（ソフト事業）

事業主体	地域団体等
対象経費	地域運営の仕組みづくりを行うために必要な経費
補助率等	10/10（補助上限額1,000千円）

(2) 活力創出事業（ハード事業）

事業主体	市町、地域団体等
対象経費	施設等の整備に必要な経費
補助率	1/2以内（事業主体：市町） 1/3以内（事業主体：地域団体等）
限度額	上限額30,000千円、下限額1,000千円

2 事業要件（ソフト・ハード事業共通）

- (1) 実施地域は、市町が「やまぐち元気生活圏づくり推進方針」を定めている地域であること
- (2) 取組内容は、地域の課題を複合的に解決するものであること
→次の①～⑤のうち2つ以上の課題解決に資する地域活動や施設整備が対象

{ ①生活機能の確保、②地域産業の振興、③交流福祉活動の促進
④生活交通の確保、⑤拠点の整備 }



II 新 中山間地域振興特別対策事業 30,000千円

中山間地域の厳しい現状を踏まえ、集落機能の低下が著しい地域の維持・活性化に急ぎ取り組み、やまぐち元気生活圏の形成に繋げていくための特別支援を実施する。

1 地域の課題

- ・元気生活圏づくりの取組が進んでいない周辺の集落では、活動の中心となる人材の高齢化、新たな担い手の不足などにより集落機能が低下
- ・こうした地域では、買い物や医療、移動手段など、日々の生活に不可欠なサービスの維持すら厳しい状況

2 事業内容

(1)特別支援員の配置

県内4か所に「特別支援員」を配置し、課題やニーズを把握して効果的な対策を地域とともに検討

* 山口県元気生活圏づくり特別支援員（柳井・大島ブロック）

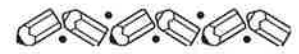
山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会

(2)集落機能維持・活性化支援（補助金）

地域の課題の解決に必要な経費を補助し、地域に寄り添った支援を実施

事業主体	市町、地域団体
対象経費	集落機能の維持、活性化に向けた取組に必要な経費 (報償費、旅費、賃金、需用費、委託料、備品購入費等)
活用例	配送サービス、地域の見守り活動、空き家の交流施設への改修、特産品の開発・販売、耕作放棄地の解消 等
補助率等	10/10 (補助上限額1,000千円)
事業期間	3年





県税徴収対策の強化について

1 県税滞納繰越額の状況

- (1) 県税全体の滞納繰越額は、平成22年度以降、8年連続で圧縮する見込み。
- (2) 個人県民税についても併任徴収※1や直接徴収※2等の取組により滞納繰越額は減少しているものの、県税全体の滞納繰越額は9割をこえている。
- (3) 「活力みなぎる山口県」の現実に向け、「3つの維新」への挑戦による新たな県づくりの取組を支える揺るぎない行財政基盤確立のため、市町との緊密な連携のもと、一層の県税徴収対策の強化に取り組む。

【個人県民税の滞納繰越額】

区分	H28滞納繰越額 (決算)	H29滞納繰越額 (見込み)	対前年滞納繰越額 増減(見込み)
県全体	1,841百万円	1,771百万円	▲70百万円
周防大島町	21,897千円	23,354千円	+1,457千円

※1 併任徴収

県税務課職員（10名）が、県内全市町の職員に併任し、市町の行う個人住民税等の滞納整理を支援

※2 直接徴収

市町において徴収が特に困難とされた個人住民税の滞納事案について、県税事務所（納税課）が引継ぎを受け、直接、滞納整理

2 平成30年度の取組

(1) 直接徴収の積極的实施

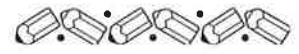
市町において徴収が困難とされた個人住民税の滞納事案を引き継ぐ直接徴収について、引き続き積極的に実施する。

(2) 特別徴収の実施促進

平成31年5月までの給与所得者に係る個人住民税特別徴収の完全実施に向け、周防大島町と連携して取り組む。



柳井警察署



1 犯罪情勢

(1) 刑法犯の認知状況（平成29年中）【周防大島町括弧内は平成30年1月～4月末】

区 分	柳井警察署管内			周防大島町			
	件 数	前年比	増減率(%)	件 数	前年比	増減率(%)	
全 刑 法 犯	287	-120	-29.5	40 (8)	+7	+21.2	
指 定 犯 罪	侵 入 盗	28	-25	-47.2	6 (2)	-3	-33.3
	うそ電話詐欺	7	-2	-22.2	4 (0)	+4	-
	車 上 ね ら い	25	+10	+66.7	6 (0)	+2	+50.0
	器 物 損 壊	43	-5	-10.4	7 (2)	-1	-12.5
	自 転 車 盗	35	-9	-20.5	2 (0)	±0	0.0
	万 引 き	52	-32	-38.1	1 (1)	-2	-66.7

※ 自転車盗の70.6%が無旋錠、侵入盗の57.1%が無旋錠箇所からの侵入

(2) うそ電話詐欺の発生状況（平成29年中）【周防大島町括弧内は平成30年1月～4月末】

区 分	柳井警察署管内			周防大島町		
	件 数	前年比	被害額(万円)	件 数	前年比	被害額(万円)
平成29年中	7	-2	577	4 (0)	+4	537

【本年4月末現在の状況】

○ 柳井警察署管内：被害なし

県内では、コンビニエンスストアを利用した架空請求詐欺被害を多数認知

(3) さい銭目的の窃盗被疑者の逮捕

○ 周防大島町内でさい銭盗被害が散発していたため、柳井署員が警戒していたところ、本年5月6日、同町内の神社の社殿建物内に侵入して現金250円を窃取した被疑者を検挙

2 交通情報

(1) 交通事故発生状況

区 分	柳井警察署内				周防大島町			
	人身	死者	傷者	物損	人身	死者	傷者	物損
平成29年	218	5	268	1786	32	1	46	280
平成28年	208	1	262	1798	37	1	53	324
増減数	+10	+4	+6	-12	-5	±0	-7	-44
平成30年4月末	47	2	53	603	9	1	9	39
平成29年4月末	77	1	93	583	7	0	9	74
増減数	-30	+1	-40	+20	+2	+1	±0	-35

- 平成29年中の周防大島町の交通事故発生状況は、前年と比較して、人身事故件数、負傷者数、物損事故件数が減少
- 本年（平成30年）に入って、周防大島町内で交通死亡事故が1件発生
 ※3月6日（火）午後1時頃、周防大島町大字小松の県道において、70歳代男性が運転する軽四乗用車が、道路左側の電柱に衝突し、後部座席に同乗の90歳代女性が死亡したもの
- 平成30年4月末現在、周防大島町内では、前年と比較して人身事故件数、死者数が増加し、物損事故件数が大幅に減少

(2) 県内の交通死亡事故発生状況（平成30年4月末現在）

- (ア) 交通死亡事故 ～16件16人（前年比-4人）
- (イ) 昼夜別 ～昼間に12件発生（75.0%）
- (ウ) 死者年齢層別 ～高齢者が11人（約68.8%）
- (エ) 事故類型別 ～車両単独が7件（約43.8%）
- (オ) ドライバー別 ～高齢者が7人（約43.8%）



学校教育
目標

燦(さん)として輝き、熱誠(ねっせい)こめて社会の力となる人材の育成
～他者とのつながりの中で磨く、総合的な人間力～

鉄筋5階建!エレベーター付!眺望抜群!



2020年1月完成予定の安下庄校舎



～火生の礎は、
ここ、周防大島で～

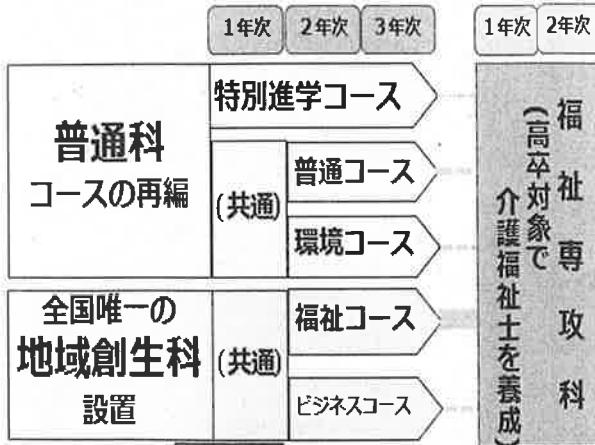
山口県立周防大島高等学校



久賀校舎

周防大島高校のチャレンジ①

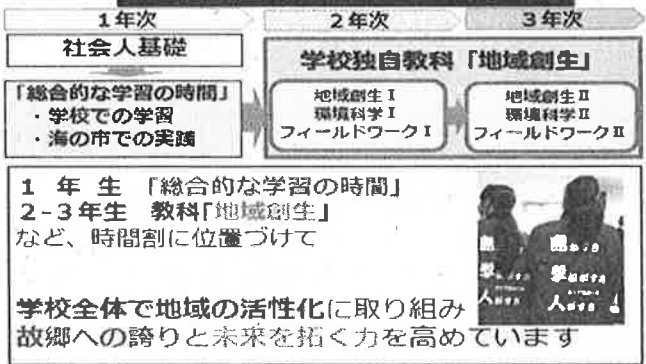
希望進路を実現できる2学科5コース・専攻科



周防大島高校のチャレンジ②

他の高校では学べないことが学べる
⇒コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、
地域と連携した教育活動を展開

島・学・人プロジェクト



普通科・特別進学コース
国公立大や難関私立大進学を目指す
少人数クラス、受験科目対応、通信添削、
教員の充実、自学自習の時間 など

普通科・普通コース
私立大・短大・専門学校・就職を目指す
部活動と学習の両立、マナトレで基礎力
興味・関心・適性に応じて科目選択

普通科・環境コース
私立大・短大・専門学校・就職を目指す
周防大島ならではの自然環境を生かした学び
科目「環境科学」等で体験的に学びを深める

地域創生科・福祉コース
福祉専攻科、福祉系大学・専門学校、就職
部会でも地方でも勤められる介護職を育成

地域創生科・ビジネスコース
私立大、短大、専門学校、就職を目指す
起業家精神に満ちた人材を育成

福祉専攻科(対象:高校卒業以上)
福祉系大学3年次への編入、就職を目指す
介護現場のリーダーを養成

学科再編後卒業生の合格実績 (H28・H29年度現浪)

特別進学
国公立大学 首都大学東京、岡山大学、愛媛大学、高知大学、島根大学
山口東京理科大学、鳥取環境大学
私立大学 桜美林大学、東京農業大学、立命館大学、福岡大学 等
高等看護専 岩国医療看護専、大島看護専
公務員 山口県警察

普通・環境
国公立大学等 山口東京理科大学、鳥取環境大学、国立波方海上技術短期大
私立大学 広島修道大、徳山大、松山大、九州国際大、人間環境大 等
本校福祉専攻科
高等看護専 徳山看護専 **就職率100%** マツダ、丸久、東洋鋼板、池田運
輸、山九、サンシャインササニセト、永大産業 等
その他の専 広島デンタル 等
就職 福祉 美容 製造・建築 商業 運輸
公務員 柳井地区消防 自衛隊

地域創生科
<福祉コース>
山口県立大学、本校福祉専攻科、看護系専 徳山看護専、広島市医師会
就職 福祉 運輸 接客 美容 公務員 **就職率100%** 自衛隊、日本郵便、
<ビジネスコース>
私立大学 広島文教女大等 専門学校
就職 接客 郵便 運輸 その他 JR西日本、日本製紙、マツダ、あ
さひ製菓、旭酒造、JA山口東、上組、
山口向陽会、ひかり苑 等

専攻科
100%合格…介護福祉士国家試験(H29年度国平均 76%)
100%就職…介護福祉施設(白寿苑、やまびこ苑、町職員等)



タブレットや電子黒板等山口県一のICT環境で主体的に深く学ぶ(共通)



介護施設での実習を通して実践的に介護技術を体得(福祉コース)



京都の企業と協働でアロハシャツ開発 屋代緒と大島の渦(ビジネスコース)

島・学・人プロジェクト

地域特性を生かした周防大島高校ならではの活動



教科「地域創生」
ハワイ文化も学べる
～フラダンスなど～

ユネスコスクールの取組
“届けよう、服のチカラ”プロジェクト
不要になった子ども服を回収し、服を必要としている世界の難民の子どもたちに、ユニクロを通じて届ける 体育館いっぱい子ども服

安下庄海の市「商品開発コンテスト」

アイデア募集 → タッチドッグ

試作

タッチの梅天 → 満天★青空レストランで紹介

↑うずしお丼

試食 モニター 海の市

大島の味 高校生が考案

町と県の政策を学び、島の活性化案を考えます！

1年次全員 「周防大島の魅力と課題」
～周防大島町役場職員が出前トーク～

2年次全員 「山口県の魅力と課題」
～山口県庁職員が出前トーク～



「地域創生」で県の課題学ぶ
周防大島高で県政出前トーク



「地方創生☆政策アイデアコンテスト2017」 (内閣府主催 2017/12/17 東京大学)

優秀賞 (全国2位)



2年A組Aチーム 発表者：北原結衣、長井菜々、河村龍弥
「ヒッチハイク★リッチタイム IN周防大島
ヒッチハイクから生まれる島民との交流」

島の活性化案が、国のコンテストで高い評価！

周防大島高校のチャレンジ③

イキイキ・ワクワクとした青春時代を過ごせる学校
⇒学校行事や部活動等の充実



ボート部 ・ H29 中国大会 2位
・ 宮城インターハイ女子個人準々決勝
・ 愛媛国体 男子団体準決勝進出



アーチェリー部
・ H29 中国大会団体 3位



吹奏楽部 ・ 山口県吹奏楽コンクール

◇facebookで情報発信◇問合せ：安下庄校舎 0820-77-1048 教頭 白濱 久賀校舎 0820-72-0024 教頭 山村



山口ゆめ花博



メインキャラクター
やまりん

〔開催時期 平成30年9月14日～11月4日〕